

長崎市レッドリスト



サステなっちゃん



令和6年6月



長崎市



<目次>

1 目的 1
2 長崎市レッドリストの性格	
(1) 調査の範囲	
(2) 評価の単位	
(3) 評価対象分類群	
(4) 評価対象種及び評価の対象としない種	
3 評価におけるカテゴリーと基準 2
(1) 「カテゴリーの定義と基本概念」	
(2) 絶滅危惧の基準	
4 長崎市レッドリスト掲載種数一覧 6
5 長崎市レッドリスト(レッドデータブック)における掲載種数の変遷	
6 掲載種索引 7
(1) 植物	
(2) 動物	
7 長崎市レッドリスト 16
(植物)	
(動物)	
8 【参考資料】各分類群の主要な種の解説・写真 28

1 目的

レッドリストとは、絶滅のおそれのある野生生物の種のリストのことです。国際的には国際自然保護連合（IUCN）が作成しており、国内では、環境省のほか、地方公共団体や NGO などが作成しています。

国内に生息・生育する希少野生生物の保全については、国のレッドリストに掲載されている絶滅のおそれのある種（絶滅危惧 I 類、II 類）のうち、人為の影響により生育・生息状況に支障をきたしているものの中から、国内希少野生動植物種が指定され、個体の取り扱い規制、生育・生息地の保護、保護増殖事業の実施など必要な措置が講じられています。

長崎市では、開発等による影響からの回避と豊かな自然環境を保全するため、平成 12 年に初めてレッドデータブックを作成し、その後、レッドリストの更新を必要に応じて行ってきましたが、最終作成から概ね 5 年が経過することから、今回、新たにレッドリストの作成を行うものです。

引き続き、希少種に対する市民の理解と関心を高め、生物多様性と豊かな自然環境の保護及び保全に努めていきます。

2 長崎市レッドリストの性格

長崎市が作成・公表するものです。作成にあたっては、環境省が作成・公表した「レッドリスト作成の手引」（令和2年2月）に準拠する形で、長崎市環境部と長崎市自然環境調査員からなる長崎市自然環境調査委員会において検討を行いました。

(1) 調査の範囲

長崎市の陸域、淡水域及び港湾など、ごく沿岸部の海域（概ね海岸線より沖合 100m以内）。

(2) 評価の単位

原則として、種または亜種を評価の単位とします（以下「種」という）。ただし、分類群の特性等に応じて変種等を評価の単位としています。

(3) 評価対象分類群

長崎市自然環境調査委員が把握可能な分類群としています。

主な分類群は、シダ植物、種子植物、貝類、昆虫類、剣尾類・十脚甲殻類、淡水魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類及びその他としています。

(4) 評価対象種及び評価対象としない種

市内に生息・生育する種で評価対象分類群に含まれるものは、原則として全てを評価の対象としています。

ただし、以下に該当する種については、原則として評価の対象としていません。

ア 市内外を広域移動する種であって、市内における記録はあるが、継続観察例がなく、通常の分布とは認めがたいもの（迷入や死滅回遊など、鳥類における迷鳥を含む）。

イ 外来種（市外から人為的に導入されたもの）と認められるもの。

ウ 肉眼で確認できない大きさ及び形態を有しない種。

3 評価におけるカテゴリと基準

「環境省レッドリストカテゴリと判定基準」に沿って、全ての分類群に共通するカテゴリと基準により評価をしています。

各カテゴリの定義と基本概念は、(1)の表のとおりです。

また、絶滅危惧カテゴリについては、(2)の表「絶滅危惧の基準」(定量評価)A～Eのいずれかを用いて評価しています。ただし、この基準による評価が困難な種については定性評価を行っています。

(1)「カテゴリの定義と基本概念」

カテゴリ		定義と基本概念
【絶滅】(EX)		市内ではすでに絶滅したと考えられる種
【野生絶滅】(EW)		飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
絶滅危惧	【絶滅危惧 I A類】(CR)	深刻な絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なものであって、ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
	【絶滅危惧 I B類】(EN)	絶滅の危機に瀕している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なものであって、I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	【絶滅危惧 II類】(VU)	絶滅の危険が増大している種 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I A 類」または「絶滅危惧 I B 類」のカテゴリに移行することが確実と考えられるもの
【準絶滅危惧】(NT)		存続基盤が脆弱な種 現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位カテゴリに移行する要素を有するもの
【情報不足】(DD)		カテゴリを判定するための情報が不足している種 現時点での絶滅危険度は確定できないが、今後情報が得られれば「絶滅危惧」等になりうるもの
【絶滅のおそれのある地域個体群】(LP)		孤立した地域個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

(2) 絶滅危惧の基準

(定量評価)

①EX, EW, NT, DD, LPの基準

カテゴリー	基準
【絶滅】(EX)	<p>過去に市内に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、我が国ではすでに絶滅したと考えられる種</p> <p>具体的には、以下のいずれかの事項を満たす場合が想定される。</p> <p>①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。</p> <p>②信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。</p> <p>③過去 50 年間前後の間に信頼できる生息の情報が得られていない。</p>
【野生絶滅】(EW)	<p>過去に市内に生息したことが確認されており、飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態では存続しているが、市内において本来の自然の生息地ではすでに絶滅したと考えられる種</p> <p>(具体的要件は「絶滅」と同じ)</p>
【準絶滅危惧】(NT)	<p>次に該当する種</p> <p>生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。</p> <p>①個体数が減少している。</p> <p>②生息条件が悪化している。</p> <p>③過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。</p> <p>④交雑可能な別種が侵入している。</p>
【情報不足】(DD)	<p>次に該当する種</p> <p>環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧カテゴリーに移行する属性(具体的には、次のいずれかの要素)を有しているが、生息状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。</p> <p>①どの生息地においても生息密度が低く希少である。</p> <p>②生息地が局限されている。</p> <p>③生物地理上、孤立した分布特性を有する(分布域がごく限られた固有種等)。</p> <p>④生活史の一部又は全部で特殊な環境条件を必要としている。</p>
【絶滅のおそれのある地域個体群】(LP)	<p>次のいずれかに該当する地域個体群</p> <p>①生息状況、学術的価値等の観点から、レッドリスト掲載種に準じて扱うべきと判断される地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルでみた場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。(ただし、分布が単一の都道府県に収まる地域個体群を除く。)</p> <p>②地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。</p>

②CR, EN, VU の基準

A. 個体群の減少			
	絶滅危惧 IA 類 (CR)	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
A1.	≧90%	≧70%	≧50%
A2. A3. A4.	≧80%	≧50%	≧30%
<p>A1. 過去 10 年 (2013 年～2022 年) もしくは 3 世代のどちらか長い期間を通じて、個体群の減少 (上記各減少率) があったと推定され、その原因がなくなっており、かつ理解されており、かつ明らかに可逆的である</p> <p>A2. 過去 10 年もしくは 3 世代のどちらか長い期間を通じて、個体群の減少 (上記各減少率) があったと推定され、その原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でない</p> <p>A3. 過去 10 年もしくは 3 世代のどちらか長い期間を通じて (最長 100 年まで)、個体群の減少 (上記各減少率) があると予測される</p> <p>A4. 過去と未来の両方を含む過去 10 年もしくは 3 世代のどちらか長い期間を通じて (最長 100 年まで)、個体群の減少 (上記各減少率) が推定され、その原因がなくなっていない、理解されていない、あるいは可逆的でない</p>			
<p>右記の (a)～(e) に基づいて判断</p> <p>(a) 直接観察 (A3 を除く)</p> <p>(b) その種に適用可能な個体数レベルをあらわす示数</p> <p>(c) 出現範囲、生息地面積または生息地の質のいずれかの減少・劣化</p> <p>(d) 実際の、または想定される捕獲採取のレベル</p> <p>(e) 外来種、交雑、病原体、汚染、競合、寄生の影響</p>			
B. 生息地面積・出現範囲の僅少等			
	絶滅危惧 IA 類 (CR)	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
B1. 出現範囲	<0.1 km ²	<5 km ²	<20 km ²
B2. 生息地面積	<0.01 km ²	<0.5 km ²	<2 km ²
B1 または B2 であり、次の (a)～(c) のうち 2 つ以上の兆候が見られる			
(a) 生息地が過度に分断されているか、右記の地点数以下に限定されている	=1	≦5	≦10
(b) (i) 出現範囲、(ii) 生息地面積、(iii) 生息地の質、(iv) 生息地点数、(v) 成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される			
(c) (i) 出現範囲、(ii) 生息地面積、(iii) 生息地点数、(iv) 成熟個体数いずれかに極度の変動が見られる			
C. 減少傾向のある小個体群			
個体群の成熟個体数が右記未満であると推定され、さらに次のいずれかの条件が加わる場合	絶滅危惧 IA 類 (CR)	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
	<50	<250	<1,000
C1. 右記のどちらか長い期間に、右記の割合で減少が推定される:	3 年間/1 世代で 25%以上の減少	5 年間/2 世代で 20%以上の減少	10 年間/3 世代で 10%以上の減少
C2. 成熟個体数の継続的な減少が推定・予測され、かつ次のいずれかに該当する			
(a) 個体群構造が次のいずれかに該当 i) 右記の数以上の成熟個体を含む 下位個体群は存在しない ii) 1 つの下位個体群中にすべての成熟個体が属している	≦10	≦25	≦100
(b) 成熟個体数の極度の変動が見られる			
D. 極めて小さい個体群			
	絶滅危惧 IA 類 (CR)	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
D1. 成熟個体数が右記の数未満と推定される個体群である場合	<10	<25	<100
D2. VU にのみ適用 個体群の生息地面積あるいは生息地点が極めて限定されている場合	—	—	D2. 典型的には、生息地面積は 20 km ² 以下、生息地点数は 5 以下
E. 数量解析による絶滅の可能性			
	絶滅危惧 IA 類 (CR)	絶滅危惧 IB 類 (EN)	絶滅危惧 II 類 (VU)
数量解析により、野生下における絶滅の可能性が、右記にあてはまると予測される場合	10 年間/3 世代 (最大 100 年まで) の絶滅確率が 50%以上	20 年間/5 世代 (最大 100 年まで) の絶滅確率が 20%以上	100 年間の絶滅確率が 10%以上

(定性評価)

カテゴリー		基準
	【絶滅】 (EX)	過去に市内に生息したことが確認されており、飼育・栽培下を含め、我が国ではすでに絶滅したと考えられる種 具体的には、以下のいずれかの事項を満たす場合が想定される。 ①信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 ②信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 ③過去 50 年間前後の間に信頼できる生息の情報が得られていない。
	【野生絶滅】 (EW)	過去に市内に生息したことが確認されており、飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態では存続しているが、市内において本来の自然の生息地ではすでに絶滅したと考えられる種 (具体的要件は「絶滅」と同じ)
絶滅危惧	【絶滅危惧 I A類】 (CR)	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ②既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 ③既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤それほど遠くない過去(30年～50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。
	【絶滅危惧 I B類】 (EN)	I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
	【絶滅危惧 II類】 (VU)	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。
	【準絶滅危惧】 (NT)	次に該当する種 生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 ①個体数が減少している。 ②生息条件が悪化している。 ③過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 ④交雑可能な別種が侵入している。
	【情報不足】 (DD)	次に該当する種 環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧カテゴリーに移行する属性(具体的には、次のいずれかの要素)を有しているが、生息状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。 ①どの生息地においても生息密度が低く希少である。 ②生息地が局限されている。 ③生物地理上、孤立した分布特性を有する(分布域がごく限られた固有種等)。 ④生活史の一部又は全部で特殊な環境条件を必要としている。
	【絶滅のおそれのある地域 個体群】 (LP)	次のいずれかに該当する地域個体群 ①生息状況、学術的価値等の観点から、レッドリスト掲載種に準じて扱うべきと判断される地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルでみた場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。 ②地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。

4 長崎市レッドリスト掲載種数一覧

(単位:種・亜種)

	絶滅	野生絶滅	危惧ⅠA	危惧ⅠB	危惧Ⅱ類	準絶滅	情報不足	地域個体	合計
	(EX)	(EW)	(CR)	(EN)	(VU)	(NT)	(DD)	(LP)	
シダ植物	7	0	16	11	8	6	0	0	48
種子植物	26	0	35	29	44	27	14	0	175
小計	33	0	51	40	52	33	14	0	223
貝類	1	0	12	17	17	13	23	0	83
昆虫類	10	0	44	45	18	10	16	0	143
剣尾・十脚甲殻類	0	0	5	5	7	1	6	0	24
淡水魚類	1	0	2	7	8	5	5	0	28
両生類	0	0	1	1	3	3	0	0	8
爬虫類	0	0	2	1	2	3	1	0	9
鳥類	0	0	10	11	19	15	3	0	58
哺乳類	0	0	0	2	2	0	3	0	7
その他	0	0	0	1	0	0	1	0	2
小計	12	0	76	90	76	50	58	0	362
合計	45	0	127	130	128	83	72	0	585

5 長崎市レッドリスト(レッドデータブック)における掲載種数の変遷

(単位:種・亜種)

	H12	H21	H23	H24	H29	H30	R5
植物	201	218	232	230	231	231	223
貝類	-	-	-	-	73	73	83
昆虫類	94	97	97	96	132	132	143
剣尾・十脚甲殻類	-	-	-	-	22	22	24
淡水魚類	-	-	-	-	30	30	28
水生生物	10	91	91	91	-	-	-
両生類	5	6	6	6	7	7	8
爬虫類	5	7	8	9	10	10	9
鳥類	80	54	59	59	59	58	58
哺乳類	6	6	5	7	7	7	7
その他	-	-	-	-	-	-	2
合計	401	479	498	498	571	570	585

※H12 から H24 までの「水生生物」の分類は、H29 からは「淡水魚類」、「剣尾・十脚甲殻類」および「貝類」に分けて分類しています。

6 掲載種索引

(1) 植物

ア	カテゴリー		No.	エ	カテゴリー		No.
アオカズラ	EN	種子植物	9	エダウチホングウシダ	EN	シダ植物	39
アオコウガイゼキショウ	NT	種子植物	10	エビガラシダ	EN	シダ植物	1
アカウキクサ	EX	シダ植物	21	エビネ	VU	種子植物	136
アカネスミレ	VU	種子植物	77				
アキノハハコグサ	EX	種子植物	51	オ	カテゴリー	No.	
アケボノアオイ	NT	種子植物	22	オオアカウキクサ	EX	シダ植物	22
アマナ	CR	種子植物	133	オオキツネノカミソリ	DD	種子植物	102
アミシダ	EN	シダ植物	33	オオクグ	EN	種子植物	36
アラゲサンショウソウ	NT	種子植物	21	オオトリゲモ	VU	種子植物	20
				オオハイホラゴケ	CR	シダ植物	19
イ	カテゴリー	No.		オオバシナミズニラ	CR	シダ植物	41
イガホオズキ	DD	種子植物	94	オオハリイ	VU	種子植物	37
イズハハコ (ワタナ)	NT	種子植物	52	オオホシクサ	EX	種子植物	114
イソヤマアオキ	DD	種子植物	88	オオルリソウ	CR	種子植物	126
イトイヌノヒゲ	NT	種子植物	113	オキナグサ	EX	種子植物	64
イトタヌキモ(ミカワタヌキモ)	DD	種子植物	82	オニシバ	NT	種子植物	15
イトテンツキ	NT	種子植物	35				
イトトリゲモ	EN	種子植物	19	カ	カテゴリー	No.	
イトモ	VU	種子植物	104	カキラン	VU	種子植物	137
イヌゴマ	CR	種子植物	71	カゲロウラン	EN	種子植物	138
イヌセンブリ	CR	種子植物	174	カゴメラン	CR	種子植物	139
イヌタヌキモ	VU	種子植物	83	カネコシダ	VU	シダ植物	8
イヌノフグリ	EN	種子植物	27	カワヂシャ	NT	種子植物	68
イヌハギ	EX	種子植物	121	ガンゼキラン	CR	種子植物	140
イワイタチシダ	CR	シダ植物	11	カンラン	CR	種子植物	141
イワレンゲ	EX	種子植物	110				
				キ	カテゴリー	No.	
ウ	カテゴリー	No.		キエビネ	VU	種子植物	142
ウエマツソウ	CR	種子植物	119	キキョウ	EX	種子植物	50
ウスゲチョウジタデ	EN	種子植物	5	キシウナナキリスゲ	VU	種子植物	38
ウスベニニガナ	EN	種子植物	53	キノクニスゲ	NT	種子植物	39
ウチョウラン	EX	種子植物	135	キバナノセッコク	EX	種子植物	143
ウマノスズクサ	CR	種子植物	23	ギョクシンカ	NT	種子植物	3
ウラギク	EX	種子植物	54	キヨスミウツボ	DD	種子植物	99
ウラジロヤナギアザミ	EX	種子植物	55	ギョボク	VU	種子植物	109
ウンゼンカンアオイ	EN	種子植物	24	キンラン	VU	種子植物	144
ウンヌケモドキ	DD	種子植物	14	ギンラン	EN	種子植物	145

ク	カテゴリー	No.				
クマガイソウ	EX 種子植物	146	シュスラン	EN	種子植物	151
クモキリソウ	EX 種子植物	147	シロヤマゼンマイ	VU	シダ植物	24
クモラン	CR 種子植物	148	ジンジソウ	EX	種子植物	131
クロフネサイシン	EX 種子植物	25				
クロホシクサ	EX 種子植物	115				
			ス	カテゴリー	No.	
			スジヒトツバ	EN	シダ植物	47
			スズメノコビエ	EN	種子植物	16
			スブタ	EN	種子植物	89
			スルガラン	CR	種子植物	152
			セ	カテゴリー	No.	
			セキショウモ	EX	種子植物	90
			セッコク	CR	種子植物	153
			センニンモ	VU	種子植物	105
			センブリ	CR	種子植物	175
			タ	カテゴリー	No.	
			タウコギ	VU	種子植物	56
			タカサゴソウ	CR	種子植物	57
			タキミシダ	EX	シダ植物	2
			タシロラン	EN	種子植物	154
			タチハコベ	CR	種子植物	96
			タチバナ	DD	種子植物	123
			タニガワスゲ	NT	種子植物	43
			ツ	カテゴリー	No.	
			ツキヌキオトギリ	VU	種子植物	33
			ツクシアオイ	EN	種子植物	26
			ツクシイワヘゴ	NT	シダ植物	12
			ツクシオオクジャク	EX	シダ植物	13
			ツクシシャクナゲ	VU	種子植物	87
			ツクシショウジョウバカマ	NT	種子植物	76
			ツクシスミレ	VU	種子植物	78
			ツクシネコノメソウ	VU	種子植物	132
			ツチアケビ	VU	種子植物	155
			ツメレンゲ	NT	種子植物	111
			ツルホラゴケ	EN	シダ植物	20
			ツレサギソウ	EX	種子植物	156
			テ	カテゴリー	No.	
			テツホシダ	NT	シダ植物	35
			デンジソウ	CR	シダ植物	29

ケ	カテゴリー	No.				
ケチドメ	CR 種子植物	79				
ケホシダ	NT シダ植物	34				
ケンボナシ	VU 種子植物	65				

コ	カテゴリー	No.				
コアゼテンツキ	CR 種子植物	40				
コイヌガラシ	NT 種子植物	7				
コウボウムギ	NT 種子植物	41				
コウライトモエソウ	VU 種子植物	32				
コウラボシ	CR シダ植物	9				
コクテンギ	DD 種子植物	97				
コスギダニキジノオ	CR シダ植物	18				
コナミキ	CR 種子植物	72				
コバンムグラ	CR 種子植物	4				
ゴマクサ	EX 種子植物	28				
ゴマシオホシクサ	EX 種子植物	116				
コマツカサススキ	EN 種子植物	42				
ゴマノハグサ	EN 種子植物	69				
コモウセンゴケ	NT 種子植物	128				

サ	カテゴリー	No.				
サイハイラン	EN 種子植物	149				
サカバサトメシダ	CR シダ植物	42				
サギゴケ	VU 種子植物	70				
ササバラン	EX 種子植物	150				
サワトウガラシ	VU 種子植物	29				

シ	カテゴリー	No.				
シノブ	EN シダ植物	23				
シバナ	VU 種子植物	75				
シマキケマン	VU 種子植物	67				
シマヒメタデ	EN 種子植物	80				
シモツケヌリトラノオ	VU シダ植物	26				
シャクジョウソウ	VU 種子植物	86				

ト	カテゴリー	No.	ヒ	カテゴリー	No.
トキワトランノオ	VU シダ植物	27	ヒゲシバ	NT 種子植物	17
トゲウミヒルモ	EN 種子植物	91	ヒトツバハギ	VU 種子植物	124
トラノハナヒゲ	VU 種子植物	44	ヒナヒゴタイ	DD 種子植物	60
ドロイ	DD 種子植物	11	ヒナラン	EN 種子植物	160
			ヒメウラジロ	NT シダ植物	4
ナ	カテゴリー	No.	ヒメコウガイゼキショウ	NT 種子植物	12
ナガサキギボウシ	VU 種子植物	63	ヒメノコギリシダ	CR シダ植物	44
ナギラン	VU 種子植物	157	ヒメノボタン	CR 種子植物	98
ナチクジャク	VU シダ植物	14	ヒメヒゴタイ	EX 種子植物	59
ナツエビネ	CR 種子植物	158	ヒメフタバラン	CR 種子植物	161
ナヨテンマ	CR 種子植物	159	ヒメミゾシダ	CR シダ植物	36
ナルコユリ	EN 種子植物	62	ヒモヅル	VU シダ植物	32
ナンカクラン	EX シダ植物	31	ビロウ	VU 種子植物	130
			ヒロハイヌノヒゲ	EX 種子植物	118
ニ	カテゴリー	No.	ヒロハノコギリシダ	EN シダ植物	45
ニセコクモウクジャク	EN シダ植物	43	ヒロハマツナ	EX 種子植物	2
ニセヨゴレイタチシダ	CR シダ植物	15			
ニッポンイヌノヒゲ	EN 種子植物	117	フ	カテゴリー	No.
ニワフジ	CR 種子植物	122	フウラン	CR 種子植物	162
			フクレギシダ	CR シダ植物	46
ヌ	カテゴリー	No.	フサスゲ	NT 種子植物	48
ヌカスゲ	NT 種子植物	45	フナバラソウ	VU 種子植物	34
ノ	カテゴリー	No.	ヘ	カテゴリー	No.
ノグサ	NT 種子植物	46	ヘゴ	CR シダ植物	38
ノヒメユリ	VU 種子植物	134			
			ホ	カテゴリー	No.
ハ	カテゴリー	No.	ホウノカワシダ	CR シダ植物	16
バイカアマチャ	NT 種子植物	6	ボウラン	EN 種子植物	163
ハナビスゲ	NT 種子植物	47	ホソバヒメトラノオ	VU 種子植物	31
ハマウツボ	CR 種子植物	100	ホソバミズヒキモ	VU 種子植物	106
ハマサジ	VU 種子植物	13	ホソバヤマジソ	CR 種子植物	73
ハマナツメ	VU 種子植物	66	ホタルカズラ	CR 種子植物	127
ハマハタザオ	NT 種子植物	8	ホンゴウソウ	VU 種子植物	120
ハマハナヤスリ	EX シダ植物	30			
ハマビシ	EX 種子植物	101	マ	カテゴリー	No.
ハマボウ	NT 種子植物	1	マツバラン	NT シダ植物	40
ハマホラシノブ	VU シダ植物	3	マメヅタラン	CR 種子植物	164
ハママンネングサ	CR 種子植物	112	マルバテイショウソウ	CR 種子植物	61
ハンカイソウ	VU 種子植物	58			

<u>ミ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>	<u>リ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
ミサキカグマ	EN シダ植物	17	リュウノヒゲモ	DD 種子植物	108
ミズオオバコ	VU 種子植物	92	リュウビンタイ	EN シダ植物	48
ミズトンボ	EN 種子植物	165			
ミズワラビ	CR シダ植物	5			
ミゾコウジュ	NT 種子植物	74			
ミドリヒメワラビ	VU シダ植物	37			
ミノボロ	DD 種子植物	18			
ミミカキグサ	EN 種子植物	84			
ミヤマウズラ	NT 種子植物	166			
ミヤマムギラン	EX 種子植物	167			

<u>ム</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
ムカゴソウ	CR 種子植物	168
ムカデラン	CR 種子植物	169
ムギラン	CR 種子植物	170
ムジナノカミソリ	VU 種子植物	103
ムヨウラン	VU 種子植物	171
ムラサキミミカキグサ	EN 種子植物	85

<u>メ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
メジロホオズキ	EN 種子植物	95

<u>モ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
モウセンゴケ	VU 種子植物	129

<u>ヤ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
ヤクシマネッタイラン	EX 種子植物	172
ヤクシマハチジョウシダ	EN シダ植物	6
ヤクシマホウビシダ	CR シダ植物	28
ヤナギスブタ	VU 種子植物	93
ヤナギヌカボ	DD 種子植物	81
ヤナギモ	VU 種子植物	107
ヤノネシダ	EX シダ植物	10
ヤマトミクリ	EN 種子植物	125
ヤマトラノオ	CR 種子植物	30
ヤマドリゼンマイ	NT シダ植物	25
ヤリテンツキ	EN 種子植物	49
ヤワラハチジョウシダ	CR シダ植物	7

<u>ユ</u>	<u>カテゴリー</u>	<u>No.</u>
ユウシュンラン	DD 種子植物	173

(2) 動物

ア	カテゴリー		No.				
				ウチヤマセンニユウ	EN	鳥類	4
アオカナブン	EN	昆虫類	61	ウミアメンボ	CR	昆虫類	2
アオダイショウ	NT	爬虫類	5	ウミコハクガイ	DD	貝類	9
アオバズク	CR	鳥類	48	ウミスズメ	CR	鳥類	7
アオマダラタマムシ	EN	昆虫類	111	ウミミズカメムシ	DD	昆虫類	131
アカウミガメ	CR	爬虫類	2	ウミミズギワゴミムシ	EN	昆虫類	14
アカガシラサギ	NT	鳥類	21	ウモレベンケイガニ	EN	剣尾・甲殻類	13
アカギカメムシ	DD	昆虫類	35	ウラギンスジヒョウモン	CR	昆虫類	99
アカショウビン	EN	鳥類	16	ウラギンヒョウモン	CR	昆虫類	100
アカハライモリ	NT	両生類	5	ウラナミジャノメ (本土亜種)	VU	昆虫類	101
アカマダラコガネ	CR	昆虫類	62				
アカモズ	CR	鳥類	55	エ	カテゴリー		No.
アカヤマドリ	VU	鳥類	18	エサキアメンボ	EN	昆虫類	3
アシガイ	VU	貝類	30	エソカタビロオサムシ	DD	昆虫類	15
アシハラガニ	VU	剣尾・甲殻類	19	エドガワミズゴマツボ (ウミゴマツボ)	DD	貝類	74
アシベマスオ	DD	貝類	31				
アビ	VU	鳥類	1	オ	カテゴリー		No.
アヤムナビロタマムシ	CR	昆虫類	112	オオアメンボ	NT	昆虫類	4
アラウズマキ	NT	貝類	12	オオウナギ	DD	魚類	1
				オオウラギンスジヒョウモン	EX	昆虫類	102
イ	カテゴリー		No.	オオウラギンヒョウモン	EX	昆虫類	103
イオウハマグリ	VU	貝類	66	オオキンカメムシ	VU	昆虫類	36
イカルチドリ	DD	鳥類	40	オオシロオビゾウムシ	DD	昆虫類	12
イシイムシ	CR	昆虫類	38	オオタカ	VU	鳥類	34
イセシラガイ	VU	貝類	43	オオタニシ	DD	貝類	40
イソシジミ	DD	貝類	32	オオチャバナセセリ	EX	昆虫類	89
イソチドリ	VU	貝類	11	オオトリガイ	EN	貝類	51
イソチビゴミムシ	EN	昆虫類	13	オオノガイ	NT	貝類	16
イソハマグリ	EN	貝類	42	オオハム	NT	鳥類	2
イソマイマイ	DD	貝類	13	オオマルケシゲンゴロウ	EN	昆虫類	44
イタチ	DD	哺乳類	1	オオミズスマシ	VU	昆虫類	132
イチョウシラトリ	CR	貝類	48	オオミズムシ	CR	昆虫類	136
イッテンコテナガエビ	DD	剣尾・甲殻類	10	オオヨシキリ	NT	鳥類	5
イドミミズハゼ	EN	魚類	8	オオヨシゴイ	CR	鳥類	22
イボウミニナ	NT	貝類	14	オオヨシノボリ	EN	魚類	9
イボキサゴ	EN	貝類	47	オガイ	CR	貝類	15
				オカミミガイ	CR	貝類	18
ウ	カテゴリー		No.	オカヨシガモ	EN	鳥類	10
ウスイロキシタバ	DD	昆虫類	139	オキシジミ	NT	貝類	68
ウスコミミガイ	VU	貝類	17	オキヒラシイノミ	CR	貝類	19
ウスタビガ	DD	昆虫類	140	オサガニ	VU	剣尾・甲殻類	2
ウスハマグリ	EN	貝類	67	オチバ	EN	貝類	33

オナガサナエ	CR	昆虫類	79	クシテガニ	CR	剣尾・甲殻類	14
オナガミズスマシ	NT	昆虫類	133	クスベニカミキリ	CR	昆虫類	22
オニギリマルケシゲンゴロウ	EN	昆虫類	45	クボハゼ	VU	魚類	10
オニサザエ	EN	貝類	1	クマサルボオ	DD	貝類	62

カ	カテゴリー		No.
カケス	DD	鳥類	14
カジカガエル	NT	両生類	1
カシラダカ	VU	鳥類	51
カスミサンショウウオ	VU	両生類	6
カツラネクイハムシ	CR	昆虫類	123
カニノテムシロ	CR	貝類	76

カネコブシガニ	DD	剣尾・甲殻類	6
カブトガニ	CR	剣尾・甲殻類	5
ガムシ	CR	昆虫類	30
カヤネズミ	VU	哺乳類	6
カラシラサギ	CR	鳥類	23
カラスバト	NT	鳥類	46
カワアイ	EN	貝類	58
カワアナゴ	VU	魚類	2
カワガラス	EN	鳥類	15
カワグチツボ	VU	貝類	83
カワスナガニ	NT	剣尾・甲殻類	17
カワヨウジ	DD	魚類	27
ガンギハマグリ	NT	貝類	69
カンムリウミスズメ	EN	鳥類	8

キ	カテゴリー		No.
キアシネクイハムシ	DD	昆虫類	124
キイトトンボ	NT	昆虫類	7
キイロコガシラミズムシ	EN	昆虫類	59
ククイタダキ	EN	鳥類	6
キクガシラコウモリ	EN	哺乳類	3
キツネ	VU	哺乳類	2
キヌカツギハマシイノミ	CR	貝類	20
キヌタアゲマキ	CR	貝類	28
キベリクロヒメゲンゴロウ	EN	昆虫類	46
キボシケシゲンゴロウ	CR	昆虫類	47
キマダラマグソコガネ	CR	昆虫類	63
キュウシュウカクマグソコガネ	EN	昆虫類	64
キュウシュウカラヒメドロムシ	EN	昆虫類	126
キュウシュウフクロウ	NT	鳥類	49

ク	カテゴリー		No.
クイナ	VU	鳥類	19

クモガタヒョウモン	CR	昆虫類	104
クリイロコミミガイ	CR	貝類	21
クロゲンゴロウ	EN	昆虫類	48
クロコハゼ	VU	魚類	11
クロサギ	VU	鳥類	24
クロツバメシジミ (九州沿岸亜種)	NT	昆虫類	81
クロトビイロカメムシ	CR	昆虫類	37
クロマダラタマムシ	EX	昆虫類	113

コ	カテゴリー		No.
ゴイサギ	VU	鳥類	25
ゴイシシジミ	EN	昆虫類	82
コオイムシ	VU	昆虫類	56
コオキナガイ	VU	貝類	26
コガタガムシ	CR	昆虫類	31
コガタノゲンゴロウ	VU	昆虫類	49
コカブトムシ	EN	昆虫類	65
コキクガシラコウモリ	EN	哺乳類	4
コサギ	NT	鳥類	26
コシアカツバメ	VU	鳥類	42
コシダカヒメモノアラガイ	DD	貝類	77
コシボソヤンマ	VU	昆虫類	141
コシャクシギ	CR	鳥類	31
コチドリ	VU	鳥類	41
コチャバネセセリ	CR	昆虫類	90
コツバメ	EN	昆虫類	83
コフキヒメイトトンボ	EN	昆虫類	8
ゴマハゼ	EN	魚類	12
コマルケシゲンゴロウ	DD	昆虫類	50
コムラサキ	EN	昆虫類	105
コメツキガニ	EN	剣尾・甲殻類	7

サ	カテゴリー		No.
ササゴイ	NT	鳥類	27
サシバ	VU	鳥類	35
サタサビカミキリ (野母崎亜種)	CR	昆虫類	23
サラサヤンマ	DD	昆虫類	142
サンコウチョウ	VU	鳥類	9
サンショウクイ	NT	鳥類	30

シ	カテゴリー		No.
シイノミミミガイ	NT	貝類	22

シオアメンボ	NT	昆虫類	5	タカノハガイ	VU	貝類	80
シオフキ	NT	貝類	52	タガメ	EX	昆虫類	57
シオヤガイ	VU	貝類	70	タケノコカワニナ	EN	貝類	46
シゲヤスイトカケギリ	NT	貝類	45	タテスジカネコメツキ	DD	昆虫類	76
シドロ	NT	貝類	39	タナカツヤハネゴミムシ	EN	昆虫類	16
シマアオジ	CR	鳥類	52	タネハゼ	DD	魚類	14
ジムグリ	NT	爬虫類	6	タビラクチ	CR	魚類	15
シャープツブゲンゴロウ	DD	昆虫類	51				
ジャノメチョウ	CR	昆虫類	106	チ	カテゴリー	No.	
シラギク	VU	貝類	10	チクゼンハゼ	VU	魚類	16
シラタエビ	CR	剣尾・甲殻類	11	チゴイワガニ	VU	剣尾・甲殻類	3
シルビアシジミ	CR	昆虫類	84	チゴガニ	VU	剣尾・甲殻類	8
シロウオ	NT	魚類	13	チゴモズ	CR	鳥類	56
シロウミアメンボ	VU	昆虫類	6	チスイビル	EN	その他	2
シロスジコガネ	EX	昆虫類	66	チチブモドキ	DD	魚類	3
シロヘリハンミョウ	CR	昆虫類	125	チビクワガタ	EX	昆虫類	41
シロマダラ	NT	爬虫類	7	チビマルケシゲンゴロウ	EN	昆虫類	53
				チュウサギ	NT	鳥類	28
ス	カテゴリー	No.		チョウセンハマグリ	NT	貝類	72
スジウネリチョウジガイ	NT	貝類	82	チョウトンボ	EN	昆虫類	117
スジグロボタル (西日本亜種)	DD	昆虫類	127	チンメルマンセスジゲンゴロウ	EN	昆虫類	54
スジクワガタ	VU	昆虫類	40				
スジヒラタガムシ	NT	昆虫類	32	ツ	カテゴリー	No.	
スタレハマグリ	DD	貝類	71	ツチガエル	VU	両生類	2
スナサビキコリ	CR	昆虫類	75	ツツイキバナガミズギワゴミムシ	CR	昆虫類	17
スナナガイソガニ	DD	剣尾・甲殻類	20	ツバメチドリ	EN	鳥類	43
スミナガシ (本土亜種)	EN	昆虫類	107	ツボミ	NT	貝類	81
				ツマキチョウ	NT	昆虫類	87
セ	カテゴリー	No.		ツマグロキチョウ	EN	昆虫類	88
セイタカシギ	VU	鳥類	33	ツミ	DD	鳥類	36
セスジゲンゴロウ	EN	昆虫類	52				
				テ	カテゴリー	No.	
ソ	カテゴリー	No.		テナガエビ	VU	剣尾・甲殻類	12
ソデフリカスミカメ	DD	昆虫類	20	テングニシ	DD	貝類	44
				テングヨウジ	VU	魚類	28
タ	カテゴリー	No.		ト	カテゴリー	No.	
タイコウチ	EN	昆虫類	96	トゲムネミヤマカミキリ	EX	昆虫類	25
ダイミョウガイ	CR	貝類	49	ドジョウ	VU	魚類	5
ダイミョウセセリ	EN	昆虫類	91	トノサマガエル	CR	両生類	3
タイラギ (リシケタイラギ)	VU	貝類	55	トビハゼ	CR	魚類	17
台湾ンツバメシジミ(本土亜種)	CR	昆虫類	85	トモエガモ	NT	鳥類	11
台湾ンメダカカミキリ	CR	昆虫類	24	ドロアワモチ	CR	貝類	7
タカチホヘビ	VU	爬虫類	4	ドンコ	NT	魚類	6
タカネトンボ	EN	昆虫類	11				

ナ	カテゴリー	No.					
ナギサノシタタリ	DD	貝類	23	ハヤブサ	VU	鳥類	47
ナタネキバサナギガイ	EN	貝類	29	バラフマテ	DD	貝類	65
ナツアカネ	CR	昆虫類	118	ハルゼミ	EN	昆虫類	95
ナベヅル	VU	鳥類	44				
ナマズ	EN	魚類	7	ヒ	カテゴリー	No.	
ナミノコ	VU	貝類	57	ヒオドシチョウ (日本亜種)	CR	昆虫類	108
ナラビオカミミガイ	CR	貝類	24	ヒガシナメクジウオ	DD	その他	1
				ヒクイナ	VU	鳥類	20
				ヒコサンセスジゲンゴロウ	VU	昆虫類	55
ニ	カテゴリー	No.		ヒサゴクサキリ	CR	昆虫類	39
ニシヤモリ	VU	爬虫類	8	ヒトツメアオゴミムシ	DD	昆虫類	18
ニセマグソコガネ	CR	昆虫類	67	ヒメアカガイ	DD	貝類	64
ニホンアカガエル	VU	両生類	4	ヒメアカネ	EN	昆虫類	120
ニホンイシガメ	CR	爬虫類	1	ヒメアシハラガニ	CR	剣尾・甲殻類	22
ニホンイトヨ	EX	魚類	4	ヒメウ	EN	鳥類	3
ニホンジネズミ	DD	哺乳類	5	ヒメカノコ	VU	貝類	3
ニホンスッポン	DD	爬虫類	3	ヒメキマダラセセリ	EX	昆虫類	92
ニホンヒキガエル	NT	両生類	8	ヒメクロサナエ	EN	昆虫類	80
ニホンホホビロコメツキモドキ	VU	昆虫類	78	ヒメヒライソモドキ	DD	剣尾・甲殻類	23
				ヒメホソハマベゴミムシダマシ	EN	昆虫類	73
				ヒメボタル	VU	昆虫類	128
ヌ	カテゴリー	No.		ヒメマルミズムシ	EN	昆虫類	130
ヌマガイ	DD	貝類	5	ヒメミズカマキリ	CR	昆虫類	97
ヌマチチブ	NT	魚類	18	ヒメミズスマシ	EN	昆虫類	134
				ヒメヤマトオサガニ	VU	剣尾・甲殻類	1
ネ	カテゴリー	No.		ヒモハゼ	VU	魚類	20
ネアカヨシヤンマ	CR	昆虫類	143	ヒラズイソアリヅカムシ	DD	昆虫類	122
ネブトクワガタ	EN	昆虫類	42	ヒラマキミズマイマイ	DD	貝類	56
				ビリング	NT	魚類	21
ノ	カテゴリー	No.		ヒロクチカノコ	EN	貝類	4
ノジコ	NT	鳥類	53				
ノボリハゼ	EN	魚類	19	フ	カテゴリー	No.	
				フジテガニ	DD	剣尾・甲殻類	15
ハ	カテゴリー	No.		フジナミ	VU	貝類	35
ハイガイ	EX	貝類	63	ブチサンショウウオ	EN	両生類	7
ハイタカ	NT	鳥類	37	ブッポウソウ	EN	鳥類	50
ハクセンシオマネキ	EN	剣尾・甲殻類	9	ブドウトラカミキリ	CR	昆虫類	26
ハザクラ	NT	貝類	34	フトヘナタリ	EN	貝類	59
ハチクマ	NT	鳥類	38	フネアマガイ	DD	貝類	61
ハッチョウトンボ	CR	昆虫類	119				
ハネナシヨウラク	EN	貝類	2	ヘ	カテゴリー	No.	
ハマガニ	CR	剣尾・甲殻類	21	ヘイケボタル	VU	昆虫類	129
ハマグリ	VU	貝類	73	ベーツヒラタカミキリ	CR	昆虫類	27
ハマスズ	EN	昆虫類	58	ヘナタリ	VU	貝類	60
ハマベオオヒメサビキコリ	NT	昆虫類	77				

ベニイトトンボ	EN	昆虫類	9	ム	カテゴリー	No.
ベニガイ	EN	貝類	50	ムカシトンボ	VU	昆虫類 138
ベニバナカミキリ	CR	昆虫類	28	ムスジイトトンボ	CR	昆虫類 10
ベニハマグリ	DD	貝類	53	ムツハアリアケガニ	EN	剣尾・甲殻類 18
ヘラコチビズムシ	DD	昆虫類	137	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	EN	昆虫類 74
				ムラサキガイ	VU	貝類 36

ホ **カテゴリー** **No.**

ボウズハゼ	VU	魚類	22
ホシハジロ	VU	鳥類	12
ホソコオロギ	EN	貝類	27
ホソバセセリ	EN	昆虫類	93

マ **カテゴリー** **No.**

マイコアカネ	EN	昆虫類	121
マイマイカブリ	CR	昆虫類	19
マクスジコミミガイ	DD	貝類	25
マサゴハゼ	EN	魚類	23
マシジミ	DD	貝類	37
マダラコガシラミズムシ	CR	昆虫類	60
マダラゴキブリ	NT	昆虫類	72
マツカサガイ	DD	貝類	6
マナヅル	VU	鳥類	45
マメクワガタ	CR	昆虫類	43
マルタニシ	EN	貝類	41
マルヒラタガムシ	EN	昆虫類	33

ミ **カテゴリー** **No.**

ミカドアゲハ	VU	昆虫類	1
ミサゴ	NT	鳥類	39
ミズイロオナガシジミ	VU	昆虫類	86
ミズカマキリ	EN	昆虫類	98
ミズゴマツボ	EN	貝類	75
ミスジツブタマムシ	CR	昆虫類	114
ミズスマシ	VU	昆虫類	135
ミソゴイ	VU	鳥類	29
ミソサザイ	NT	鳥類	54
ミツノエンマコガネ	EN	昆虫類	68
ミドリヒョウモン	CR	昆虫類	109
ミナミアシハラガニ	EN	剣尾・甲殻類	24
ミナミメダカ	NT	魚類	25
ミヤコドリ	DD	貝類	79
ミヤマセセリ	EX	昆虫類	94
ミュキシジミガムシ	VU	昆虫類	34

メ **カテゴリー** **No.**

メスグロヒョウモン	NT	昆虫類	110
-----------	----	-----	-----

モ **カテゴリー** **No.**

モノアラガイ	CR	貝類	78
--------	----	----	----

ヤ **カテゴリー** **No.**

ヤイロチョウ	CR	鳥類	57
ヤクヤモリ	EN	爬虫類	9
ヤマコウモリ	DD	哺乳類	7
ヤマシギ	VU	鳥類	32
ヤマセミ	CR	鳥類	17
ヤマトアオドウガネ	EN	昆虫類	69
ヤマトオサガニ	DD	剣尾・甲殻類	4
ヤマトケシマグソコガネ	EN	昆虫類	70
ヤマトシジミ	DD	貝類	38
ヤマトタマムシ	VU	昆虫類	115
ヤマトヒメアワモチ	DD	貝類	8
ヤマトヒメテントウ	CR	昆虫類	116
ヤマトヒメメダカカッコウムシ	CR	昆虫類	21

ユ **カテゴリー** **No.**

ユキガイ	EN	貝類	54
ユゴイ	DD	魚類	26
ユビアカベンケイガニ	VU	剣尾・甲殻類	16

ヨ **カテゴリー** **No.**

ヨシガモ	EN	鳥類	13
ヨタカ	EN	鳥類	58
ヨツバコガネ	EN	昆虫類	71
ヨツボシカミキリ	CR	昆虫類	29

ル **カテゴリー** **No.**

ルリヨシノボリ	EN	魚類	24
---------	----	----	----

7 長崎市レッドリスト(植物)

【カテゴリー区分一覧】

【絶滅】	(EX)	市内ではすでに絶滅したと考えられる種
【野生絶滅】	(EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
【絶滅危惧ⅠA類】	(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
【絶滅危惧ⅠB類】	(EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
【絶滅危惧Ⅱ類】	(VU)	絶滅の危険が増大している種
【準絶滅危惧】	(NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化で「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
【情報不足】	(DD)	評価するだけの情報が不足しているが、今後情報で「絶滅危惧」等になりうるもの
【地域個体群】	(LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
シダ植物								
1		イノモトソウ科	エビガラシダ	EN	EN	→	VU	VU
2		イノモトソウ科	タキミシダ	EX	EX	→	EN	EN
3		イノモトソウ科	ハマホラシノブ	VU	VU	→	—	—
4		イノモトソウ科	ヒメウラジロ	NT	NT	→	VU	NT
5		イノモトソウ科	ミズワラビ	CR	CR	→	—	EN
6	新	イノモトソウ科	ヤクシマハチジョウシダ	EN	—	↑	—	VU
7		イノモトソウ科	ヤワラハチジョウシダ	CR	CR	→	EN	EN
8		ウラジロ科	カネコシダ	VU	CR	↓	VU	EN
9		ウラボシ科	コウラボシ	CR	EN	↑	—	—
10		ウラボシ科	ヤノネシダ	EX	DD	↑	—	VU
11		オシダ科	イワイタチシダ	CR	CR	→	—	—
12		オシダ科	ツクシイワヘゴ	NT	VU	↓	—	—
13		オシダ科	ツクシオオクジャク	EX	EX	→	—	—
14		オシダ科	ナチクジャク	VU	VU	→	—	—
15		オシダ科	ニセヨゴレイタチシダ	CR	CR	→	NT	CR
16		オシダ科	ホウノカワシダ	CR	CR	→	—	—
17		オシダ科	ミサキカグマ	EN	EN	→	—	—
18		キジノオシダ科	コスギダニキジノオ	CR	CR	→	—	—
19		コケシノブ科	オオハイホラゴケ	CR	CR	→	—	VU
20		コケシノブ科	ツルホラゴケ	EN	EN	→	—	VU
21		サンショウモ科	アカウキクサ	EX	EX	→	EN	EN
22		サンショウモ科	オオアカウキクサ	EX	EX	→	EN	VU
23		シノブ科	シノブ	EN	EN	→	—	—
24		ゼンマイ科	シロヤマゼンマイ	VU	VU	→	—	—
25		ゼンマイ科	ヤマドリゼンマイ	NT	NT	→	—	—
26		チャセンシダ科	シモツケヌリトラノオ	VU	VU	→	—	VU
27		チャセンシダ科	トキワトラノオ	VU	VU	→	—	—
28		チャセンシダ科	ヤクシマホウビシダ	CR	CR	→	—	CR
29		デンジソウ科	デンジソウ	CR	CR	→	VU	VU
30		ハナヤスリ科	ハマハナヤスリ	EX	CR	↑	—	EX
31		ヒカゲノカズラ科	ナンカクラン	EX	EX	→	—	EX
32		ヒカゲノカズラ科	ヒモツル	VU	VU	→	VU	VU
33		ヒメシダ科	アミシダ	EN	CR	↓	—	EX
34		ヒメシダ科	ケホシダ	NT	EN	↓	—	—
35		ヒメシダ科	テツホシダ	NT	VU	↓	—	—
36		ヒメシダ科	ヒメミソシダ	CR	CR	→	NT	EN
37		ヒメシダ科	ミドリヒメワラビ	VU	EN	↓	—	—
38		ヘゴ科	ヘゴ	CR	CR	→	—	VU
39		ホングウシダ科	エダウチホングウシダ	EN	CR	↓	—	NT
40		マツバラン科	マツバラン	NT	EN	↓	NT	NT
41		ミズニラ科	オオバシナミズニラ	CR	CR	→	EN	CR
42		イワデンダ科	サカバサトメシダ	CR	CR	→	VU	VU
43		イワデンダ科	ニセコクモウクジャク	EN	EN	→	—	NT

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
44		イワデンダ科	ヒメノコギリシダ	CR	CR	→	NT	CR
45		メシダ科	ヒロハノコギリシダ	EN	CR	↓	—	—
46		メシダ科	フクレギシダ	CR	CR	→	CR	CR
47		ヤブレガサウラボシ科	スジヒトツバ	EN	CR	↓	—	VU
48		リュウビンタイ科	リュウビンタイ	EN	CR	↓	—	NT
種子植物								
1		アオイ科	ハマボウ	NT	VU	↓	—	—
2		アカザ科	ヒロハマツナ	EX	EX	→	VU	EN
3		アカネ科	ギョクシンカ	NT	EN	↓	—	NT
4		アカネ科	コバンムグラ	CR	CR	→	EN	CR
5		アカバナ科	ウスゲチヨウシタデ	EN	EN	→	NT	NT
6		アジサイ科	バйкаアマチャ	NT	NT	→	—	—
7		アブラナ科	コイヌガラシ	NT	NT	→	NT	—
8	新	アブラナ科	ハマハタザオ	NT	—	↑	—	—
9		アワブキ科	アオカズラ	EN	CR	↓	EN	EN
10	新	イグサ科	アオコウガイゼキショウ	NT	—	↑	—	—
11		イグサ科	ドロイ	DD	DD	→	—	NT
12		イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	NT	NT	→	—	—
13		イソマツ科	ハマサジ	VU	VU	→	NT	—
14		イネ科	ウンヌケモドキ	DD	NT	↓	NT	VU
15		イネ科	オニシバ	NT	NT	→	—	—
16		イネ科	スズメノコビエ	EN	NT	↑	—	—
17		イネ科	ヒゲシバ	NT	NT	→	—	NT
18		イネ科	ミノボロ	DD	NT	↓	—	NT
19	新	イバラモ科	イトトリゲモ	EN	—	↑	NT	VU
20		イバラモ科	オトリゲモ	VU	VU	→	—	VU
21		イラクサ科	アラゲサンショウソウ	NT	NT	→	EN	NT
22		ウマノスズクサ科	アケボノアオイ	NT	VU	↓	VU	VU
23		ウマノスズクサ科	ウマノスズクサ	CR	CR	→	—	—
24	新	ウマノスズクサ科	ウンゼンカンアオイ	EN	—	↑	VU	VU
25		ウマノスズクサ科	クロフネサイシン	EX	EX	→	NT	EX
26		ウマノスズクサ科	ツクシアオイ	EN	CR	↓	VU	VU
27		オオバコ科	イヌノフグリ	EN	VU	↑	VU	VU
28		オオバコ科	ゴマクサ	EX	DD	↑	VU	EN
29		オオバコ科	サフトウガラシ	VU	EN	↓	—	—
30	新	オオバコ科	ヤマトラノオ	CR	—	↑	—	CR
31		オオバコ科	ホソバヒメトラノオ	VU	VU	→	EN	NT
32		オトギリソウ科	コウライトモエソウ	VU	VU	→	VU	VU
33		オトギリソウ科	ツキヌキオトギリ	VU	EN	↓	EN	NT
34		ガガイモ科	フナバラソウ	VU	VU	→	VU	VU
35		カヤツリグサ科	イトテンツキ	NT	NT	→	NT	NT
36		カヤツリグサ科	オオクグ	EN	EN	→	NT	EN
37		カヤツリグサ科	オオハリイ	VU	VU	→	—	—
38		カヤツリグサ科	キシウナキリスゲ	VU	VU	→	VU	NT
39		カヤツリグサ科	キノクニスゲ	NT	EN	↓	NT	—
40		カヤツリグサ科	コアゼテンツキ	CR	CR	→	—	CR
41		カヤツリグサ科	コウボウムギ	NT	VU	↓	—	—
42	新	カヤツリグサ科	コマツカサススキ	EN	—	↑	—	EN
43		カヤツリグサ科	タニガワスゲ	NT	NT	→	—	—
44	新	カヤツリグサ科	トラノハナヒゲ	VU	—	↑	—	—
45		カヤツリグサ科	ヌカスゲ	NT	EN	↓	—	—
46		カヤツリグサ科	ノグサ	NT	NT	→	—	—
47		カヤツリグサ科	ハナビスゲ	NT	EN	↓	VU	VU
48		カヤツリグサ科	フサスゲ	NT	NT	→	—	—
49		カヤツリグサ科	ヤリテンツキ	EN	EN	→	NT	—
50		キキョウ科	キキョウ	EX	EX	→	VU	VU
51		キク科	アキノハハコグサ	EX	DD	↑	EN	DD
52		キク科	イズハハコ (ワタナ)	NT	VU	↓	VU	NT
53		キク科	ウスベニニガナ	EN	EN	→	—	—

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
54		キク科	ウラギク	EX	VU	↑	NT	NT
55		キク科	ウラジロヤナギアザミ	EX	DD	↑	—	—
56		キク科	タウコギ	VU	VU	→	—	—
57		キク科	タカサゴソウ	CR	CR	→	VU	VU
58	新	キク科	ハンカイソウ	VU	—	↑	—	—
59	新	キク科	ヒメヒゴタイ	EX	—	↑	VU	EN
60		キク科	ヒナヒゴタイ	DD	EN	↓	EN	EN
61	新	キク科	マルパテイショウソウ	CR	—	↑	VU	EN
62	新	キジカクシ科	ナルコユリ	EN	—	↑	—	—
63		キジムシロ科	ナガサキギボウシ	VU	EN	↓	VU	EN
64		キンボウゲ科	オキナグサ	EX	EX	→	VU	CR
65		クロウメモドキ科	ケンボナシ	VU	CR	↓	—	NT
66		クロウメモドキ科	ハマナツメ	VU	CR	↓	VU	VU
67		ケシ科	シマキケマン	VU	VU	→	—	NT
68		ゴマノハグサ科	カワヂシャ	NT	NT	→	NT	—
69		ゴマノハグサ科	ゴマノハグサ	EN	EN	→	VU	NT
70	新	サギゴケ科	サギゴケ	VU	—	↑	—	—
71		シソ科	イヌゴマ	CR	CR	→	—	EN
72		シソ科	コナミキ	CR	CR	→	VU	VU
73		シソ科	ホソバヤマジソ	CR	CR	→	VU	EN
74		シソ科	ミソコウジュ	NT	NT	→	NT	—
75		シバナ科	シバナ	VU	VU	→	NT	NT
76		シュロソウ科	ツクシショウジョウバカマ	NT	NT	→	—	—
77	新	スマレ科	アカネスミレ	VU	—	↑	—	—
78		スマレ科	ツクシスマレ	VU	VU	→	—	VU
79	新	セリ科	ケチドメ	CR	—	↑	—	—
80		タデ科	シマヒメタデ	EN	EN	→	—	VU
81		タデ科	ヤナギヌカボ	DD	DD	→	VU	NT
82		タヌキモ科	イトタヌキモ(ミカワタヌキモ)	DD	CR	↓	VU	EN
83		タヌキモ科	イヌタヌキモ	VU	VU	→	NT	VU
84		タヌキモ科	ミミカキグサ	EN	CR	↓	—	VU
85		タヌキモ科	ムラサキミミカキグサ	EN	CR	↓	NT	VU
86		ツツジ科	シャクジョウソウ	VU	EN	↓	—	VU
87		ツツジ科	ツクシシャクナゲ	VU	EN	↓	—	VU
88		ツツラフジ科	イソヤマアオキ	DD	DD	→	—	NT
89		トチカガミ科	スプタ	EN	EN	→	VU	NT
90		トチカガミ科	セキシウモ	EX	EX	→	—	EX
91		トチカガミ科	トゲウミヒルモ	EN	CR	↓	VU	VU
92		トチカガミ科	ミズオオバコ	VU	VU	→	VU	NT
93		トチカガミ科	ヤナギスプタ	VU	VU	→	—	NT
94		ナス科	イガホオズキ	DD	EN	↓	—	VU
95		ナス科	メジロホオズキ	EN	EN	→	—	NT
96		ナデシコ科	タチハコベ	CR	CR	→	VU	VU
97		ニシキギ科	コクテンギ	DD	DD	→	—	VU
98		ノボタン科	ヒメノボタン	CR	CR	→	VU	CR
99		ハマウツボ科	キョスミウツボ	DD	VU	↓	—	—
100		ハマウツボ科	ハマウツボ	CR	CR	→	VU	NT
101		ハマビシ科	ハマビシ	EX	EW	↑	EN	CR
102		ヒガンバナ科	オオキツネノカミソリ	DD	VU	↓	—	—
103		ヒガンバナ科	ムジナノカミソリ	VU	VU	→	EW	VU
104		ヒルムシロ科	イトモ	VU	CR	↓	NT	NT
105		ヒルムシロ科	センニンモ	VU	CR	↓	—	EN
106		ヒルムシロ科	ホソバミスヒキモ	VU	VU	→	—	—
107		ヒルムシロ科	ヤナギモ	VU	CR	↓	—	VU
108		ヒルムシロ科	リュウノヒゲモ	DD	CR	↓	NT	EN
109		フウチョウソウ科	ギョボク	VU	VU	→	—	VU
110	新	ベンケイソウ科	イワレンゲ	EX	—	↑	VU	NT
111		ベンケイソウ科	ツメレンゲ	NT	NT	→	NT	NT
112	新	ベンケイソウ科	ハママンネングサ	CR	—	↑	NT	—

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
113		ホシクサ科	イトイヌノヒゲ	NT	NT	→	—	—
114		ホシクサ科	オオホシクサ	EX	CR	↑	—	EN
115		ホシクサ科	クロホシクサ	EX	CR	↑	VU	EN
116		ホシクサ科	ゴマシオホシクサ	EX	EX	→	EN	VU
117		ホシクサ科	ニッポンイヌノヒゲ	EN	EN	→	—	—
118	新	ホシクサ科	ヒロハイヌノヒゲ	EX	—	↑	—	—
119		ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	CR	EN	↑	VU	EN
120		ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	VU	EN	↓	VU	VU
121		マメ科	イヌハギ	EX	CR	↑	VU	VU
122		マメ科	ニワフジ	CR	CR	→	—	CR
123		ミカン科	タチバナ	DD	CR	↓	NT	EN
124		ミカンソウ科	ヒトツバハギ	VU	EX	↓	—	EN
125		ミクリ科	ヤマトミクリ	EN	EN	→	NT	NT
126		ムラサキ科	オオルリソウ	CR	EN	↑	—	VU
127		ムラサキ科	ホタルカズラ	CR	EX	↓	—	VU
128		モウセンゴケ科	コモウセンゴケ	NT	NT	→	—	VU
129		モウセンゴケ科	モウセンゴケ	VU	VU	→	—	NT
130		ヤシ科	ピロウ	VU	EN	↓	—	—
131		ユキノシタ科	ジンジソウ	EX	EX	→	—	—
132		ユキノシタ科	ツクシネコノメソウ	VU	EN	↓	—	—
133	新	ユリ科	アマナ	CR	—	↑	—	NT
134		ユリ科	ノヒメユリ	VU	NT	↑	EN	NT
135		ラン科	ウチョウラン	EX	EX	→	VU	EN
136		ラン科	エビネ	VU	VU	→	NT	NT
137		ラン科	カキラン	VU	VU	→	—	NT
138	新	ラン科	カゲロウラン	EN	—	↑	NT	EN
139	新	ラン科	カゴメラン	CR	—	↑	—	CR
140		ラン科	ガンゼキラン	CR	CR	→	VU	CR
141		ラン科	カンラン	CR	CR	→	EN	CR
142		ラン科	キエビネ	VU	VU	→	EN	VU
143		ラン科	キバナノセッコク	EX	EX	→	EN	CR
144		ラン科	キンラン	VU	VU	→	VU	NT
145		ラン科	ギンラン	EN	VU	↑	—	VU
146		ラン科	クマガイソウ	EX	EX	→	VU	EX
147		ラン科	クモキリソウ	EX	EN	↑	—	—
148	新	ラン科	クモラン	CR	—	↑	—	CR
149		ラン科	サイハイラン	EN	EN	→	—	—
150		ラン科	ササバラン	EX	EX	→	EN	NT
151		ラン科	シュスラン	EN	EN	→	—	—
152	新	ラン科	スルガラン	CR	—	↑	CR	CR
153		ラン科	セッコク	CR	CR	→	—	EN
154	新	ラン科	タシロラン	EN	—	↑	NT	NT
155		ラン科	ツチアケビ	VU	CR	↓	—	VU
156		ラン科	ツレサギソウ	EX	EX	→	—	CR
157		ラン科	ナギラン	VU	VU	→	VU	VU
158		ラン科	ナツエビネ	CR	CR	→	VU	VU
159	新	ラン科	ナヨデンマ	CR	—	↑	EN	EN
160		ラン科	ヒナラン	EN	EN	→	EN	VU
161		ラン科	ヒメフタバラン	CR	CR	→	—	VU
162		ラン科	フウラン	CR	CR	→	VU	EN
163		ラン科	ボウラン	EN	EN	→	NT	NT
164		ラン科	マメツタラン	CR	CR	→	NT	EN
165		ラン科	ミズトンボ	EN	VU	↑	VU	VU
166		ラン科	ミヤマウズラ	NT	NT	→	—	—
167		ラン科	ミヤマムギラン	EX	EX	→	NT	EX
168		ラン科	ムカゴソウ	CR	CR	→	EN	EN
169		ラン科	ムカデラン	CR	CR	→	VU	CR
170		ラン科	ムギラン	CR	CR	→	NT	VU
171		ラン科	ムヨウラン	VU	EN	↓	—	NT

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
172		ラン科	ヤクシマネツタイラン	EX	EN	↑	EN	CR
173		ラン科	ユウシュンラン	DD	DD	→	VU	EN
174	新	リンドウ科	イヌセンブリ	CR	—	↑	VU	EN
175	新	リンドウ科	センブリ	CR	—	↑	—	VU

7 長崎市レッドリスト(動物)

【カテゴリー区分一覧】

【絶滅】 (EX)	市内ではすでに絶滅したと考えられる種
【野生絶滅】 (EW)	飼育・栽培下、あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種
【絶滅危惧ⅠA類】 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
【絶滅危惧ⅠB類】 (EN)	I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
【絶滅危惧Ⅱ類】 (VU)	絶滅の危険が増大している種
【準絶滅危惧】 (NT)	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化で「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
【情報不足】 (DD)	評価するだけの情報が不足しているが、今後情報で「絶滅危惧」等になりうるもの
【地域個体群】 (LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
貝類								
1	新	アッキガイ科	オニサザエ	EN	—	↑	NT	CR
2	新	アッキガイ科	ハネナシヨウラク	EN	—	↑	VU	CR
3		アマオブネガイ科	ヒメカノコ	VU	VU	→	NT	CR
4		アマオブネガイ科	ヒロクチカノコ	EN	EN	→	NT	EN
5		イシガイ科	ヌマガイ	DD	DD	→	—	—
6	新	イシガイ科	マツカサガイ	DD	—	↑	NT	EN
7	新	イソアワモチ科(ドロアワモチ科)	ドロアワモチ	CR	CR	→	VU	EN
8	新	イソアワモチ科(ドロアワモチ科)	ヤマトヒメアワモチ	DD	—	↑	—	VU
9	新	イソコハクガイ科	ウミコハクガイ	DD	—	↑	VU	VU
10	新	イソコハクガイ科	シラギク	VU	—	↑	NT	NT
11	新	イソチドリ科	イソチドリ	VU	—	↑	CR+EN	—
12		イソマイマイ科	アラウズマキ	NT	NT	→	VU	VU
13	新	イソマイマイ科	イソマイマイ	DD	—	↑	VU	—
14		ウミニナ科	イボウミニナ	NT	VU	↓	VU	EN
15		エソバイ科	オガイ	CR	DD	↑	EN	CR
16		オオノガイ科	オオノガイ	NT	NT	→	NT	NT
17		オカミミガイ科	ウスコミミガイ	VU	NT	↑	NT	VU
18		オカミミガイ科	オカミミガイ	CR	CR	→	VU	EN
19		オカミミガイ科	オキヒラシイノミ	CR	CR	→	CR+EN	CR
20		オカミミガイ科	キヌカツギハマシイノミ	CR	CR	→	VU	CR
21		オカミミガイ科	クリイロコミミガイ	CR	CR	→	VU	CR
22		オカミミガイ科	シイノミミミガイ	NT	NT	→	CR+EN	EN
23		オカミミガイ科	ナギサノシタタリ	DD	NT	↓	—	—
24		オカミミガイ科	ナラビオカミミガイ	CR	VU	↑	VU	EN
25		オカミミガイ科	マクスジコミミガイ	DD	DD	→	NT	NT
26	新	オキナガイ科	コオキナガイ	VU	—	↑	CR+EN	EN
27		オニツノガイ科	ホソコオロギ	EN	VU	↑	CR+EN	VU
28		キヌタアゲマキ科	キヌタアゲマキ	CR	DD	↑	NT	NT
29	新	キバサナギガイ科	ナタネキバサナギガイ	EN	—	↑	VU	VU
30		シオサザナミ科	アシガイ	VU	DD	↑	NT	—
31		シオサザナミ科	アシベマスオ	DD	DD	→	DD	—
32	新	シオサザナミ科	イソシジミ	DD	—	↑	—	VU
33		シオサザナミ科	オチバ	EN	DD	↑	NT	—
34		シオサザナミ科	ハザクラ	NT	VU	↓	NT	CR
35		シオサザナミ科	フジナミ	VU	CR	↓	CR+EN	VU
36		シオサザナミ科	ムラサキガイ	VU	NT	↑	VU	EN
37		シジミ科	マシジミ	DD	DD	→	VU	DD
38	新	シジミ科	ヤマトシジミ	DD	—	↑	NT	NT
39	新	ソデボラ科	シドロ	NT	—	↑	—	—
40	新	タニシ科	オオタニシ	DD	—	↑	NT	VU
41		タニシ科	マルタニシ	EN	EN	→	VU	VU
42	新	チドリマスオガイ科	イソハマグリ	EN	—	↑	NT	—
43		ツキガイ科	イセシラガイ	VU	CR	↓	CR+EN	CR

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
44	新	テングニシ科	テングニシ	DD	—	↑	NT	EN
45		トウガタガイ科	シゲヤスイトカケギリ	NT	NT	→	NT	NT
46		トウガタカワニナ科	タケノコカワニナ	EN	VU	↑	VU	CR
47		ニシキウスガイ科	イボキサゴ	EN	CR	↓	NT	VU
48		ニッコウガイ科	イチョウシラトリ	CR	CR	→	CR+EN	CR
49		ニッコウガイ科	ダイミョウガイ	CR	DD	↑	NT	EN
50	新	ニッコウガイ科	ベニガイ	EN	—	↑	NT	VU
51	新	バカガイ科	オオトリガイ	EN	—	↑	NT	NT
52	新	バカガイ科	シオフキ	NT	—	↑	—	—
53	新	バカガイ科	ベニハマグリ	DD	—	↑	—	—
54		バカガイ科	ユキガイ	EN	EN	→	NT	EN
55		ハボウキガイ科	タイラギ (リシケタイラギ)	VU	DD	↑	NT	EN
56		ヒラマキガイ科	ヒラマキミズマイマイ	DD	DD	→	DD	DD
57		フジノハナガイ科	ナミノコ	VU	NT	↑	NT	VU
58		フトヘナタリ科(キバウミニナ科)	カワアイ	EN	VU	↑	VU	NT
59		フトヘナタリ科(キバウミニナ科)	フトヘナタリ	EN	NT	↑	NT	NT
60		フトヘナタリ科(キバウミニナ科)	ヘナタリ	VU	NT	↑	NT	NT
61		フネアマガイ科	フネアマガイ	DD	CR	↓	—	—
62	新	フネガイ科	クマサルボオ	DD	—	↑	VU	EN
63		フネガイ科	ハイガイ	EX	EX	→	VU	CR
64	新	フネガイ科	ヒメアカガイ	DD	—	↑	CR+EN	EX
65	新	マテガイ科	バラフマテ	DD	—	↑	NT	—
66		マルスダレガイ科	イオウハマグリ	VU	EN	↓	VU	VU
67		マルスダレガイ科	ウスハマグリ	EN	CR	↓	CR+EN	CR
68		マルスダレガイ科	オキシジミ	NT	NT	→	—	—
69		マルスダレガイ科	ガンギハマグリ	NT	NT	→	NT	NT
70		マルスダレガイ科	シオヤガイ	VU	VU	→	NT	EN
71	新	マルスダレガイ科	スダレハマグリ	DD	—	↑	—	—
72	新	マルスダレガイ科	チョウセンハマグリ	NT	—	↑	—	EN
73		マルスダレガイ科	ハマグリ	VU	CR	↓	VU	CR
74		ミズゴマツボ科	エドガワミズゴマツボ (ウミゴマツボ)	DD	NT	↓	NT	NT
75		ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ	EN	CR	↓	VU	EN
76	新	ムシロガイ科	カニノテムシロ	CR	—	↑	NT	EN
77		モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ	DD	DD	→	DD	DD
78		モノアラガイ科	モノアラガイ	CR	DD	↑	NT	VU
79		ユキスズメガイ科	ミヤコドリ	DD	NT	↓	NT	NT
80	新	ユキノアシタガイ科	タカノハガイ	VU	—	↑	—	—
81		ユキノカサガイ科	ツボミ	NT	NT	→	NT	NT
82		リソツボ科	スジウネリチョウジガイ	NT	NT	→	VU	NT
83		ワカウラツボ科	カワグチツボ	VU	NT	↑	NT	NT
昆虫類								
1	新	アゲハチョウ科	ミカドアゲハ	VU	—	↑	—	—
2		アメンボ科	ウミアメンボ	CR	CR	→	—	CR
3		アメンボ科	エサキアメンボ	EN	VU	↑	NT	VU
4	新	アメンボ科	オオアメンボ	NT	—	↑	—	NT
5		アメンボ科	シオアメンボ	NT	NT	→	VU	CR
6		アメンボ科	シロウミアメンボ	VU	VU	→	VU	NT
7		イトトンボ科	キイトトンボ	NT	NT	→	—	VU
8		イトトンボ科	コフキヒメイトトンボ	EN	CR	↓	—	CR
9		イトトンボ科	ベニイトトンボ	EN	VU	↑	NT	NT
10		イトトンボ科	ムスジイトトンボ	CR	NT	↑	—	NT
11		エソトンボ科	タカネトンボ	EN	VU	↑	VU	VU
12		オサゾウムシ科	オオシロオビゾウムシ	DD	NT	↓	—	NT
13		オサムシ科	イソチビゴミムシ	EN	VU	↑	NT	VU
14		オサムシ科	ウミミズギワゴミムシ	EN	VU	↑	NT	VU
15		オサムシ科	エゾカタビロオサムシ	DD	NT	↓	—	—
16		オサムシ科	タナカツヤハネゴミムシ	EN	NT	↑	DD	DD
17		オサムシ科	ツツキバナガミスギワゴミムシ	CR	NT	↑	NT	NT

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
18		オサムシ科	ヒトツメアオゴミムシ	DD	NT	↓	NT	—
19		オサムシ科	マイマイカブリ	CR	NT	↑	—	—
20		カスミカメムシ科	ソデフリカスミカメ	DD	NT	↓	—	—
21		カッコウムシ科	ヤマトヒメメダカカッコウムシ	CR	VU	↑	—	NT
22		カミキリムシ科	クスベニカミキリ	CR	EN	↑	—	NT
23		カミキリムシ科	サタサビカミキリ (野母崎亜種)	CR	CR	→	—	CR
24		カミキリムシ科	タイワンメダカカミキリ	CR	EN	↑	—	—
25		カミキリムシ科	トゲムネミヤマカミキリ	EX	EX	→	—	EX
26		カミキリムシ科	ブドウトラカミキリ	CR	EN	↑	—	EN
27		カミキリムシ科	ベーツヒラタカミキリ	CR	VU	↑	—	VU
28		カミキリムシ科	ベニバハナカミキリ	CR	NT	↑	—	—
29		カミキリムシ科	ヨツボシカミキリ	CR	EN	↑	CR	EN
30		ガムシ科	ガムシ	CR	CR	→	NT	VU
31		ガムシ科	コガタガムシ	CR	CR	→	VU	CR
32		ガムシ科	スジヒラタガムシ	NT	NT	→	NT	NT
33		ガムシ科	マルヒラタガムシ	EN	VU	↑	NT	VU
34		ガムシ科	ミユキシジミガムシ	VU	NT	↑	NT	VU
35		カメムシ科	アカギカメムシ	DD	NT	↓	—	—
36		カメムシ科	オオキンカメムシ	VU	NT	↑	—	—
37		カメムシ科	クロトビイロカメムシ	CR	VU	↑	—	CR
38		ガロアムシ科	イシイムシ	CR	CR	→	EN	EN
39		キリギリス科	ヒサゴクサキリ	CR	CR	→	—	—
40		クワガタムシ科	スジクワガタ	VU	NT	↑	—	—
41		クワガタムシ科	チビクワガタ	EX	EX	→	—	—
42		クワガタムシ科	ネプトクワガタ	EN	EN	→	—	—
43		クワガタムシ科	マメクワガタ	CR	EN	↑	—	—
44		ゲンゴロウ科	オオマルケシゲンゴロウ	EN	NT	↑	NT	NT
45	新	ゲンゴロウ科	オニギリマルケシゲンゴロウ	EN	—	↑	—	—
46		ゲンゴロウ科	キベリクロヒメゲンゴロウ	EN	VU	↑	NT	VU
47	新	ゲンゴロウ科	キボシケシゲンゴロウ	CR	—	↑	DD	VU
48		ゲンゴロウ科	クロゲンゴロウ	EN	VU	↑	NT	VU
49		ゲンゴロウ科	コガタノゲンゴロウ	VU	NT	↑	VU	NT
50		ゲンゴロウ科	コマルケシゲンゴロウ	DD	DD	→	NT	DD
51		ゲンゴロウ科	シャープツブゲンゴロウ	DD	CR	↓	NT	—
52	新	ゲンゴロウ科	セスジゲンゴロウ	EN	—	↑	—	—
53		ゲンゴロウ科	チビマルケシゲンゴロウ	EN	CR	↓	NT	EN
54		ゲンゴロウ科	チンメルマンセスジゲンゴロウ	EN	NT	↑	—	VU
55		ゲンゴロウ科	ヒコサンセスジゲンゴロウ	VU	VU	→	—	EN
56		コオイムシ科	コオイムシ	VU	NT	↑	NT	EN
57	新	コオイムシ科	タガメ	EX	—	↑	VU	CR
58		コオロギ科	ハマスズ	EN	NT	↑	—	—
59		コガシラミズムシ科	キイロコガシラミズムシ	EN	NT	↑	VU	VU
60	新	コガシラミズムシ科	マダラコガシラミズムシ	CR	—	↑	VU	VU
61		コガネムシ科	アオカナブン	EN	EN	→	—	—
62		コガネムシ科	アカマダラコガネ	CR	CR	→	—	CR
63		コガネムシ科	キマダラマグソコガネ	CR	VU	↑	—	CR
64		コガネムシ科	キュウシュウカクマグソコガネ	EN	NT	↑	—	—
65		コガネムシ科	コカブトムシ	EN	VU	↑	—	—
66		コガネムシ科	シロスジコガネ	EX	CR	↑	—	NT
67		コガネムシ科	ニセマグソコガネ	CR	EN	↑	—	EN
68		コガネムシ科	ミツノエンマコガネ	EN	EN	→	—	—
69		コガネムシ科	ヤマトアオドウガネ	EN	CR	↓	—	—
70		コガネムシ科	ヤマトケシマグソコガネ	EN	VU	↑	—	VU
71		コガネムシ科	ヨツバコガネ	EN	VU	↑	—	NT
72		ゴキブリ科	マダラゴキブリ	NT	NT	→	—	—
73	新	ゴミムシダマシ	ヒメホソハマゴミムシダマシ	EN	—	↑	—	—
74		コツブゲンゴロウ科	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	EN	EN	→	VU	EN
75		コメツキムシ科	スナサビキコリ	CR	VU	↑	—	NT

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
76		コメツキムシ科	タテスジカネコメツキ	DD	NT	↓	—	—
77		コメツキムシ科	ハマベオオヒメサビキコリ	NT	EN	↓	—	—
78		オオキノコムシキ科	ニホンホホビロコメツキモドキ	VU	NT	↑	—	—
79		サナエトンボ科	オナガサナエ	CR	VU	↑	—	EN
80		サナエトンボ科	ヒメクロサナエ	EN	VU	↑	—	VU
81		シジミチョウ科	クロツバメシジミ(九州沿岸亜種)	NT	VU	↓	NT	NT
82		シジミチョウ科	ゴイシシジミ	EN	VU	↑	—	—
83		シジミチョウ科	コツバメ	EN	VU	↑	—	NT
84		シジミチョウ科	シルビアシジミ	CR	CR	→	EN	VU
85		シジミチョウ科	タイワンツバメシジミ(本土亜種)	CR	CR	→	EN	EN
86		シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ	VU	NT	↑	—	NT
87		シロチョウ科	ツマキチョウ	NT	NT	→	—	—
88		シロチョウ科	ツマグロキチョウ	EN	EN	→	EN	NT
89		セセリチョウ科	オオチャバナセセリ	EX	CR	↑	—	EN
90		セセリチョウ科	コチャバナセセリ	CR	VU	↑	—	—
91		セセリチョウ科	ダイミョウセセリ	EN	NT	↑	—	—
92		セセリチョウ科	ヒメキマダラセセリ	EX	EN	↑	—	VU
93		セセリチョウ科	ホソバセセリ	EN	NT	↑	—	NT
94		セセリチョウ科	ミヤマセセリ	EX	EN	↑	—	EN
95		セミ科	ハルゼミ	EN	VU	↑	—	EN
96		タイコウチ科	タイコウチ	EN	NT	↑	—	VU
97		タイコウチ科	ヒメミズカマキリ	CR	EN	↑	—	VU
98		タイコウチ科	ミズカマキリ	EN	NT	↑	—	NT
99		タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン	CR	VU	↑	VU	VU
100		タテハチョウ科	ウラギンヒョウモン	CR	VU	↑	—	VU
101		タテハチョウ科	ウラナミジャノメ(本土亜種)	VU	NT	↑	VU	NT
102		タテハチョウ科	オオウラギンスジヒョウモン	EX	CR	↑	—	CR
103		タテハチョウ科	オオウラギンヒョウモン	EX	EX	→	CR	EN
104		タテハチョウ科	クモガタヒョウモン	CR	VU	↑	—	EN
105		タテハチョウ科	コムラサキ	EN	VU	↑	—	NT
106		タテハチョウ科	ジャノメチョウ	CR	EN	↑	—	VU
107		タテハチョウ科	スミナガシ(本土亜種)	EN	NT	↑	—	NT
108		タテハチョウ科	ヒオドシチョウ(日本亜種)	CR	CR	→	—	VU
109		タテハチョウ科	ミドリヒョウモン	CR	CR	→	—	—
110		タテハチョウ科	メスグロヒョウモン	NT	NT	→	—	NT
111		タマムシ科	アオマダラタマムシ	EN	VU	↑	—	NT
112		タマムシ科	アヤムナピロタマムシ	CR	EN	↑	—	—
113		タマムシ科	クロマダラタマムシ	EX	CR	↑	—	—
114		タマムシ科	ミスジツブタマムシ	CR	CR	→	—	VU
115		タマムシ科	ヤマトタマムシ	VU	NT	↑	—	—
116		テントウムシ科	ヤマトヒメテントウ	CR	VU	↑	—	NT
117		トンボ科	チョウトンボ	EN	VU	↑	—	—
118		トンボ科	ナツアカネ	CR	VU	↑	—	—
119		トンボ科	ハッチョウトンボ	CR	CR	→	—	CR
120		トンボ科	ヒメアカネ	EN	VU	↑	—	NT
121		トンボ科	マイコアカネ	EN	NT	↑	—	NT
122	新	ハネカクシ科	ヒラズイソアリツカムシ	DD	—	↑	—	—
123		ハムシ科	カツラネクイハムシ	CR	EN	↑	—	CR
124		ハムシ科	キアシネクイハムシ	DD	NT	↓	—	—
125	新	ハンミョウ科	シロヘリハンミョウ	CR	—	↑	NT	—
126	新	ヒメドロムシ	キュウシュウカラヒメドロムシ	EN	—	↑	—	NT
127	新	ホタル科	スジグロホタル(西日本亜種)	DD	—	↑	—	VU
128		ホタル科	ヒメホタル	VU	NT	↑	—	VU
129		ホタル科	ヘイケホタル	VU	VU	→	—	VU
130	新	マルミズムシ科	ヒメマルミズムシ	EN	—	↑	—	—
131		ミズカメムシ科	ウミミズカメムシ	DD	NT	↓	—	—
132		ミズスマシ科	オオミズスマシ	VU	NT	↑	NT	NT
133		ミズスマシ科	オナガミズスマシ	NT	NT	→	—	EN

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
134		ミズスマシ科	ヒメミズスマシ	EN	VU	↑	EN	VU
135		ミズスマシ科	ミズスマシ	VU	VU	→	VU	VU
136	新	ミズムシ科	オオミズムシ	CR	—	↑	NT	NT
137	新	ミズムシ科	ヘラコチビミズムシ	DD	—	↑	—	—
138		ムカシトンボ科	ムカシトンボ	VU	NT	↑	—	VU
139		ヤガ科	ウスイロキシタバ	DD	DD	→	—	—
140		ヤママユガ科	ウスタビガ	DD	DD	→	—	—
141		ヤンマ科	コシボソヤンマ	VU	VU	→	—	VU
142		ヤンマ科	サラサヤンマ	DD	EN	↓	—	EN
143		ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ	CR	CR	→	NT	VU
剣尾・十脚甲殻類								
1		オサガ二科	ヒメヤマトオサガニ	VU	NT	↑	—	—
2		オサガ二科	オサガニ	VU	EN	↓	—	—
3	新	オサガ二科	チゴイワガニ	VU	—	↑	—	VU
4		オサガ二科	ヤマトオサガニ	DD	DD	→	—	—
5		カブトガニ科	カブトガニ	CR	CR	→	CR+EN	EN
6		コブシガニ科	カネココブシガニ	DD	DD	→	DD	DD
7		コメツキガニ科	コメツキガニ	EN	NT	↑	—	—
8	新	コメツキガニ科	チゴガニ	VU	—	↑	—	—
9		スナガニ科	ハクセンシオマネキ	EN	VU	↑	VU	—
10		テナガエビ科	イッテンコテナガエビ	DD	DD	→	—	—
11		テナガエビ科	シラタエビ	CR	CR	→	—	NT
12		テナガエビ科	テナガエビ	VU	VU	→	—	—
13		ベンケイガニ科	ウモレベンケイガニ	EN	EN	→	—	NT
14		ベンケイガニ科	クシテガニ	CR	EN	↑	—	NT
15		ベンケイガニ科	フジテガニ	DD	VU	↓	—	—
16	新	ベンケイガニ科	ユビアカベンケイガニ	VU	—	↑	—	NT
17		ムツハアリアケガニ科	カワスナガニ	NT	NT	→	NT	NT
18		ムツハアリアケガニ科	ムツハアリアケガニ	EN	EN	→	—	VU
19	新	モクスガニ科	アシハラガニ	VU	—	↑	—	NT
20	新	モクスガニ科	スネナガイソガニ	DD	—	↑	—	—
21		モクスガニ科	ハマガニ	CR	CR	→	—	VU
22		モクスガニ科	ヒメアシハラガニ	CR	EN	↑	—	NT
23	新	モクスガニ科	ヒメヒライソモドキ	DD	—	↑	—	—
24		モクスガニ科	ミナミアシハラガニ	EN	NT	↑	—	—
淡水魚類								
1		ウナギ科	オオウナギ	DD	CR	↓	—	DD
2		カワアナゴ科	カワアナゴ	VU	NT	↑	—	NT
3		カワアナゴ科	チチブモドキ	DD	DD	→	—	—
4		トゲウオ科	ニホンイトヨ	EX	EX	→	—	EX
5		ドジョウ科	ドジョウ	VU	EN	↓	NT	NT
6		ドンコ科	ドンコ	NT	NT	→	—	—
7		ナマズ科	ナマズ	EN	EN	→	—	—
8		ハゼ科	イドミミズハゼ	EN	CR	↓	NT	NT
9		ハゼ科	オオヨシノボリ	EN	CR	↓	—	NT
10		ハゼ科	クボハゼ	VU	EN	↓	EN	—
11		ハゼ科	クロコハゼ	VU	VU	→	—	—
12		ハゼ科	ゴマハゼ	EN	VU	↑	VU	—
13		ハゼ科	シロウオ	NT	NT	→	VU	NT
14		ハゼ科	タネハゼ	DD	EN	↓	—	NT
15		ハゼ科	タビラクチ	CR	CR	→	VU	VU
16		ハゼ科	チクゼンハゼ	VU	EN	↓	VU	VU
17		ハゼ科	トビハゼ	CR	CR	→	NT	EN
18		ハゼ科	ヌマチチブ	NT	NT	→	—	—
19	新	ハゼ科	ノボリハゼ	EN	—	↑	—	NT
20		ハゼ科	ヒモハゼ	VU	EN	↓	NT	—
21		ハゼ科	ピリンゴ	NT	NT	→	—	—
22		ハゼ科	ボウズハゼ	VU	VU	→	—	VU

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
23		ハゼ科	マサゴハゼ	EN	VU	↑	VU	—
24		ハゼ科	ルリヨシノボリ	EN	VU	↑	—	VU
25		メダカ科	ミナミメダカ	NT	VU	↓	VU	NT
26		ユゴイ科	ユゴイ	DD	NT	↓	—	NT
27	新	ヨウジウオ科	カワヨウジ	DD	—	↑	—	VU
28	新	ヨウジウオ科	テングヨウジ	VU	—	↑	—	—
両生類								
1		アオガエル科	カジカガエル	NT	NT	→	—	NT
2	新	アカガエル科	ツチガエル	VU	—	↑	—	NT
3		アカガエル科	トノサマガエル	CR	CR	→	NT	CR
4		アカガエル科	ニホンアカガエル	VU	VU	→	—	VU
5		イモリ科	アカハライモリ	NT	NT	→	NT	—
6		サンショウウオ科	カスミサンショウウオ	VU	VU	→	VU	VU
7		サンショウウオ科	ブチサンショウウオ	EN	EN	→	EN	EN
8		ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	NT	NT	→	—	NT
爬虫類								
1		イシガメ科	ニホンイシガメ	CR	EN	↑	NT	EN
2		ウミガメ科	アカウミガメ	CR	CR	→	EN	EN
3		スッポン科	ニホンスッポン	DD	DD	→	DD	DD
4		タカチホヘビ科	タカチホヘビ	VU	VU	→	—	NT
5		ナミヘビ科	アオダイショウ	NT	NT	→	—	—
6		ナミヘビ科	ジムグリ	NT	NT	→	—	—
7		ナミヘビ科	シロマダラ	NT	NT	→	—	NT
8		ヤモリ科	ニシヤモリ	VU	VU	→	—	NT
9		ヤモリ科	ヤクヤモリ	EN	EN	→	VU	EN
鳥類								
1		アビ科	アビ	VU	NT	↑	—	VU
2		アビ科	オオハム	NT	NT	→	—	NT
3		ウ科	ヒメウ	EN	EN	→	EN	EN
4		センニュウ科	ウチヤマセンニュウ	EN	EN	→	EN	EN
5		ヨシキリ科	オオヨシキリ	NT	NT	→	—	—
6		クイタダキ科	クイタダキ	EN	EN	→	—	EN
7		ウミスズメ科	ウミスズメ	CR	CR	→	CR	CR
8		ウミスズメ科	カンムリウミスズメ	EN	EN	→	VU	VU
9		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	VU	VU	→	—	VU
10		カモ科	オカヨシガモ	EN	VU	↑	—	NT
11		カモ科	トモエガモ	NT	EN	↓	VU	NT
12	新	カモ科	ホシハジロ	VU	—	↑	—	—
13		カモ科	ヨシガモ	EN	VU	↑	—	NT
14		カラス科	カケス	DD	NT	↓	—	DD
15		カワガラス科	カワガラス	EN	EN	→	—	VU
16		カワセミ科	アカショウビン	EN	EN	→	—	VU
17		カワセミ科	ヤマセミ	CR	CR	→	—	CR
18		キジ科	アカヤマドリ	VU	EN	↓	NT	NT
19		クイナ科	クイナ	VU	VU	→	—	VU
20		クイナ科	ヒクイナ	VU	VU	→	NT	NT
21		サギ科	アカガシラサギ	NT	NT	→	—	NT
22		サギ科	オオヨシゴイ	CR	CR	→	CR	CR
23		サギ科	カラシラサギ	CR	CR	→	NT	CR
24		サギ科	クロサギ	VU	VU	→	—	NT
25	新	サギ科	ゴイサギ	VU	—	↑	—	NT
26	新	サギ科	コサギ	NT	—	↑	—	DD
27		サギ科	ササゴイ	NT	NT	→	—	NT
28		サギ科	チュウサギ	NT	NT	→	NT	NT
29		サギ科	ミゾゴイ	VU	EN	↓	VU	VU
30		サンショウクイ科	サンショウクイ	NT	EN	↓	VU	VU
31		シギ科	コシヤクシギ	CR	CR	→	EN	CR
32		シギ科	ヤマシギ	VU	VU	→	—	NT
33		セイタカシギ科	セイタカシギ	VU	VU	→	VU	VU

No	掲載	科名	和名	カテゴリー 新 (R5)	カテゴリー 旧 (H30)	希少度 変化	環境省 カテゴリー	長崎県 カテゴリー
34		タカ科	オオタカ	VU	EN	↓	NT	NT
35		タカ科	サシバ	VU	VU	→	VU	VU
36		タカ科	ツミ	DD	DD	→	—	NT
37		タカ科	ハイタカ	NT	NT	→	NT	NT
38		タカ科	ハチクマ	NT	NT	→	NT	NT
39		ミサゴ科	ミサゴ	NT	NT	→	NT	NT
40	新	チドリ科	イカルチドリ	DD	—	↑	—	NT
41		チドリ科	コチドリ	VU	VU	→	—	VU
42		ツバメ科	コシアカツバメ	VU	NT	↑	—	DD
43		ツバメチドリ科	ツバメチドリ	EN	EN	→	VU	EN
44		ツル科	ナベヅル	VU	VU	→	VU	NT
45		ツル科	マナヅル	VU	VU	→	VU	VU
46		ハト科	カラスバト	NT	NT	→	NT	NT
47		ハヤブサ科	ハヤブサ	VU	EN	↓	VU	VU
48		フクロウ科	アオバズク	CR	CR	→	—	VU
49		フクロウ科	キュウシュウフクロウ	NT	NT	→	—	NT
50		ブッポウソウ科	ブッポウソウ	EN	EN	→	EN	CR
51	新	ホオジロ科	カシラダカ	VU	—	↑	—	NT
52		ホオジロ科	シマアオジ	CR	CR	→	CR	CR
53		ホオジロ科	ノジコ	NT	NT	→	NT	NT
54		ミソサザイ科	ミソサザイ	NT	NT	→	—	NT
55		モズ科	アカモズ	CR	CR	→	EN	CR
56		モズ科	チゴモズ	CR	CR	→	CR	CR
57		ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	CR	CR	→	EN	CR
58		ヨタカ科	ヨタカ	EN	EN	→	NT	CR
哺乳類								
1		イタチ科	イタチ	DD	NT	↓	—	DD
2		イヌ科	キツネ	VU	VU	→	—	NT
3		キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	EN	EN	→	—	NT
4		キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ	EN	EN	→	—	NT
5		トガリネズミ科	ニホンジネズミ	DD	NT	↓	—	—
6		ネズミ科	カヤネズミ	VU	VU	→	—	NT
7		ヒナコウモリ科	ヤマコウモリ	DD	EN	↓	VU	DD
その他								
1	新	ナメクジウオ科	ヒガシナメクジウオ	DD	—	↑	—	—
2	新	ヒルド科	チスイビル	EN	—	↑	—	—

8 【参考資料】各分類群の主要な種の解説・写真

①「植物」(シダ植物)

ヤワラハチジョウシダ (イノモトソウ科)

Pteris natiensis Tagawa

長崎市カテゴリー;絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

本州(神奈川県、紀伊半島)、四国(徳島県、高知県)、九州、琉球列島に分布していますが、九州南部と紀伊半島南部を除くと希なシダ植物です。県内では長崎市と五島市のみに見られます。かつては長崎市南部によく見られましたが、シカの食害を受けて極めて希となりました。和名のように葉質は柔らかく、優雅なシダです。



ヒモヅル (ヒカゲノカズラ科)

Lycopodium casuarinoides Spring

長崎市カテゴリー;絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

東南アジアから中国南部、台湾、日本に分布し、日本では本州の近畿地方と九州、屋久島に見られます。県内では西彼杵半島と長崎半島に見られますが、林道の拡幅や開発によって少なくなっています。茎はつる状に長く伸び、樹木にからみよじ登るため、キノボリヒカゲノカズラの別名があります。



ヘゴ (ヘゴ科)

Cyathea spinulosa Wall. ex Hook.

長崎市カテゴリー;絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

茎が地上に伸びる木生シダで、亜熱帯性の植物です。長崎県では五島が自生北限地帯として知られており、天然記念物になっています。長崎市では2か所に1株ずつ、いずれも湿度の高い谷浴いに生息しています。



②「植物」(種子植物)

ナガサキギボウシ(キジカクシ科)

Hosta tsushimensis N. Fujita et M.N. Tamura var. *tibae*
(F. Maek.) N. Fujita et M.N. Tamura

長崎市カテゴリー;絶滅危惧Ⅱ類(VU)

摘要

対馬に分布するツシマギボウシの変種で、長崎県固有の植物です。50年ほど前までは稲佐山の東斜面の露岩地にふつうに群生していましたが、園芸用に採取され、次第に少なくなり、今ではほとんど見られなくなりました。9月頃に長い花茎を伸ばし、薄紫色で濃い筋の入った美しい花をたくさん咲かせます。



ガンゼキラン(ラン科)

Phaius flavus (Blume) Lindl.

長崎市カテゴリー;絶滅危惧ⅠA類(CR)

摘要

日本では本州南部、四国、九州、琉球に分布しますが、産地は少なく、県内でも現存する生育地は数か所です。長崎市内では長い間発見されず、絶滅したと思われていましたが、最近になって生育地が1か所発見されました。照葉樹林の湿った場所に生育し、5月下旬に美しい花を咲かせます。マニアの乱獲や森林の伐採などによって少なくなっています。



ムカゴソウ(ラン科)

Herminium lanceum (Thunb. ex Sw.) J. Vuijk

長崎市カテゴリー;絶滅危惧ⅠA類(CR)

摘要

亜寒帯から熱帯まで広く分布し、日本でも北海道北部を除く全国に見られますが、生育地は決して多くはありません。県内でも各地に記録はありますが、確実に生育している場所は数か所であり、市内では1か所です。

日当たりの良い草地で多くの草本に混じって生育しているため目立たず、草地の自然遷移や開発などによって少なくなっています。



③「貝類」

カニノテムシロ (ムシロガイ科)

Nassarius bellulus (A.Adams, 1852)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

殻高1.5cm程の小型の巻貝で、河口付近などの泥干潟に生息しています。市内では最近の調査で古い死殻が2か所で確認されたのみで、すでに絶滅してしまった可能性もあります。県北地域では健在地が確認されているので、今後、更なる調査で生きた個体が確認されることを期待しています。



ナラビオカミミガイ (オカミミガイ科)

Auriculastra duplicata (Pfeiffer, 1854)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

殻高1cm弱の淡褐色をした小型の巻貝で、満潮線付近に生育するヨシ原内にある流木の下などに生息しています。市内ではヨシ原や泥干潟自体が少なく、満潮線付近は埋め立てや護岸などの開発されやすい環境であるため、本種の生息環境自体が脆弱となっています。現在、市内の生息場所は1か所のみとなっています。



タイラギ (リシケタイラギ) (ハボウキガイ科)

Atrina lischkeana (Clessin, 1891)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

35cmほどの大きさになる大型の二枚貝で、貝柱やヒラが食用として流通しています。市内では数か所で死殻を確認しています。本種を対象とした漁が市内では行われていないため、潮下帯には健全な生息地が残されている可能性があります。画像は、市内の泥干潟に刺さった状態で見つかった死後間もないものと思われるものです。



④「昆虫類」

ヒサゴクサキリ (キリギリス科)

Palaeograecia lutea (Redtenbacher, 1891)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

体長50mm前後の大形のバッタの一種です。体色は淡褐色で、顔面に緑色の斑紋、背中には濃褐色の帯状の模様があります。

低地から海岸付近に生えているメダケやササ類の藪に見られ、若芽を食べています。



ムカシトンボ (ムカシトンボ科)

Epiophlebia superstes (Selys, 1889)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

ムカシトンボの仲間は中生代に繁栄しました。本種は生きた化石とも呼ばれています。幼虫から成虫までは7~8年を要します。成虫は4月下旬から5月上旬にのみに山地の渓流域で見られます。オスは縄張りを形成し、縄張り内を定期的に飛び回り、メスを探します。



コムラサキ (タテハチョウ科)

Apatura metis substituta (Butler, 1873)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I B類 (EN)

摘要

前翅長35mm程度の中形のチョウで、翅の表にはオレンジ色の地色に茶色や黒褐色の模様があります。オスは翅の表に光が当たると紫色に輝きます。

幼虫はヤナギ科の植物の葉を食べて育ちます。成虫はクヌギの樹液、熟した果実、動物のフンなどに集まります。



⑤「剣尾類・十脚甲殻類

シラタエビ (テナガエビ科)

Exopalaemon orientis (Holthuis, 1950)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

額角が長い7cmほどになる半透明のエビで、河口付近や内湾奥の泥底が巻き上がって濁った水域で見つかることが多い種です。市内ではこれまで1か所での記録があるのみでしたが、今回新たに健在地が見つかり、多くの個体が確認できています。有明海では食用となっている種です。



ハマガニ (モクスガニ科)

Chasmagnathus convexus (De Haan, 1833)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I A類 (CR)

摘要

甲幅5cmほどになる大型のカニで、河口や内湾にある塩生植物やヨシ原が生育する場所に孔を掘って生息しています。市内では2か所の生息地があるのみで、そのうち1か所は、最近の調査で見つかっておらず、クロベンケイガニが多産する状況となっています。もう一つの場所も限定的で、生息している個体もあまり多くないようです。



ユビアカベンケイガニ (ベンケイガニ科)

Parasesarma tripectinis (Shen, 1940)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

甲幅1.5cmほどになり、河口や内湾の転石海岸やイネ科などの塩生植物一帯に生息します。市内では2か所で確認されていますが、一度に確認される数も少なく、確認地点一帯で見つかる可能性もありますが、生息地は限定的と考えられます。



⑥「淡水性魚類」

ルリヨシノボリ (ハゼ科)

Rhinogobius mizunoi (Suzuki, Shibukawa & Aizawa, 2017)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 I B類 (EN)

摘要

全長7cm以上になり、河川の上流部に生息しています。頬にコバルトブルーの斑点がある美しいハゼです。市内では2河川で記録されていますが、そのうち1河川では1個体の記録のみです。本来、仔稚魚期を海で過ごす回遊魚ですが、市内の主な生息地では、陸封個体群と考えられます。



カワアナゴ (カワアナゴ科)

Eleotris oxycephala (Temminck & Schlegel, 1845)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

全長が20cm程になり、河川の下流部を中心に生息しています。市内で確認されている同属のチチブモドキやオカメハゼに比べるとやや上流側に生息しているようです。市内では、角力灘や橘湾に注ぐ河川で見つかることが多いですが、過去には大村湾に注ぐ河川でも見つかっています。



クボハゼ (ハゼ科)

Gymnogobius scrobiculatus (Takagi, 1957)

長崎市カテゴリー; 絶滅危惧 II類 (VU)

摘要

全長4cm程になる小型のハゼで、河口付近にある砂礫質の干潟などに生息しています。アナジャコ類の生息する孔に棲んでいることが多いため、干潟を観察しても見かけることが少ない種です。市内では、これまで数か所でのみ記録されていきましたが、最近の調査で、新たに3か所で見つかっています。どの地点も生息している範囲は狭くない状況です。



⑦「両生類」

カスミサンショウウオ (サンショウウオ科)

Hynobius nebulosus (Temminck & Schlegel, 1838)

長崎市カテゴリー；絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

摘要

体長15cm程度で雑木林に生息し、冬季に水田や水路に集まり産卵します。また、山際の水田や湧き水、ため池など少しの水場でも産卵を行います。

都市部を除く市内全域に広く分布しますが、確認場所や卵塊数は毎年減少しています。卵塊は巻いたバナナ状で内部に100前後の卵を含んでいます。



⑧「爬虫類」

ニシヤモリ (ヤモリ科)

Gekko sp.

長崎市カテゴリー；絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

摘要

五島灘周辺の島嶼や西彼杵半島の海岸域に分布しています。海岸の岩の割れ目や道路脇の水抜き穴に生息し、5月頃に産卵、8月にはふ化した小さな幼体が見られます。皮膚は、ゴツゴツしており、お腹は黄色い。

ニホンヤモリが生息域に進出しており、かなり減少しています。



⑨「鳥類」

カシラダカ (ホオジロ科)

Emberiza rustica (Pallas, 1776)

長崎市カテゴリー；絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

摘要

ユーラシア大陸に広く分布するホオジロ科の1種。日本では冬鳥。かつては冬場に50~100羽ほどの群れを観察できましたが、近年見られることは少数で群れも10羽程度。世界的に減少傾向にあり北欧では既に絶滅、日本でも冬場の飛来数が50年ほど前に比べ1/7に減少しており、2016年国際鳥類保護連合では絶滅危惧Ⅱ類に選定されています。



ゴイサギ(サギ科)

Nycticorax nycticorax (Linnaeus, 1758)

長崎市カテゴリー;絶滅危惧Ⅱ類(VU)

摘要

かつては留鳥として河川域で普通に見られ、銅座川でも繁殖のためのコロニーが形成されていましたが消滅。長崎市内の環境には大きな変化がないため、同じ環境に棲息し増加しているアオサギとの競合などが関係していると考えられます。全国的にも減少傾向の著しい種として懸念が広がっています。

ゴイサギの名前は鎌倉時代に官位の五位を授かったことに由来します。



ホシハジロ(カモ科)

Aythya ferina (Linnaeus, 1758)

長崎市カテゴリー;絶滅危惧Ⅱ類(VU)

摘要

ユーラシア大陸全域に見られるカモの仲間。長崎県内でも冬場は普通に見られ特に諫早湾(調整池内)や大村湾では群れて観察できます。長崎市内への飛来は年による変動がありますがおおむね100羽前後。国際鳥類保護連合では2015年の改定の際、絶滅危惧Ⅱ類に選定され、長崎市においての越冬数に目立った変化はないものの今後の経緯を注視するという点から新たにレッドリストに追加しました。



⑩「哺乳類」

キクガシラコウモリ(キクガシラコウモリ科)

Rhinolophus ferrumequinum (Schreber, 1774)

長崎市カテゴリー;絶滅危惧ⅠB類(EN)

摘要

コキクガシラコウモリと形態は似ていますが、より大型で、休憩や冬眠しているときは翼で全身を覆い隠しています。洞窟に生息し、夕方、小昆虫を求めて飛び立ち、明け方にもどってきます。主な生息環境の洞窟の減少により、個体数も減少しています。





令和5年度長崎市環境ポスター 優秀賞受賞作品

■協力（調査協力、写真提供）

【長崎市自然環境調査委員】

中西弘樹（植物）、田中清（昆虫類）、深川元太郎（淡水魚類・剣尾類・十脚甲殻類・貝類・その他）、
吉谷将史（鳥類）、松尾公則（哺乳類・爬虫類・両生類）

■令和6年（2024）6月発行

■編集・発行 長崎市環境政策課 〒850-8685 長崎市魚の町4番1号

Tel 095-829-1156 Fax 095-829-1218

メール kankyo@city.nagasaki.lg.jp